

09/900,919

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 1月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-023910

出 願 人

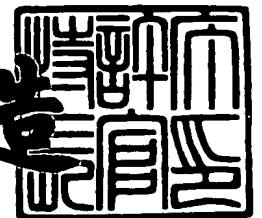
Applicant(s):

株式会社リコー

2001年 5月30日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3048292

【書類名】 特許願

【整理番号】 0100166

【提出日】 平成13年 1月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G03G 21/00 396

【発明の名称】 画像形成装置管理システムおよび画像形成装置管理方法
とそれに使用する中央管理装置並びに画像形成装置

【請求項の数】 44

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

【氏名】 鈴木 興文

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代表者】 桜井 正光

【代理人】

【識別番号】 100080931

【住所又は居所】 東京都豊島区東池袋 1 丁目 2 0 番 2 号 池袋ホワイトハ
ウスビル 8 1 8 号

【弁理士】

【氏名又は名称】 大澤 敬

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-210353

【出願日】 平成12年 7月11日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014498

【納付金額】 21,000円

特 2 0 0 1 - 0 2 3 9 1 0

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809113

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像形成装置管理システムおよび画像形成装置管理方法とそれ
に使用する中央管理装置並びに画像形成装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータを備えた中央管理装置と、該中央管理装置に通
信回線を介して接続する通信アダプタと、該通信アダプタに有線又は無線による
専用インタフェースを介して接続する画像形成装置とによって構成され、前記中
央管理装置が、前記通信回線、前記複数の通信アダプタ、および前記専用インタ
フェースを介して前記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理システムに
おいて、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に応じて該画像形
成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードするファームウェアダウンロー
ド手段を設け、

前記画像形成装置に、前記中央管理装置から更新用のファームウェアがダウン
ロードされた場合に、該ファームウェアによって当該画像形成装置のファームウ
ェアを更新するファームウェア更新手段を設けたことを特徴とする画像形成装置
管理システム。

【請求項 2】 請求項 1 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段が、前記画像形成装置の
ハードウェアを構成する制御基板あるいはユニットに応じて該画像形成装置へ更
新用のファームウェアをダウンロードする手段であることを特徴とする画像形成
装置管理システム。

【請求項 3】 請求項 1 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段が、前記画像形成装置の
ハードウェアを構成するファームウェア格納用の 1 個又は複数個の不揮発性メモ
リに応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする手段で
あることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の画像形成装置管理シ
ステムにおいて、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するデータベースを格納する手段と、前記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって前記データベースを更新するデータベース更新手段とを設け、

前記画像形成装置に、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信するハードウェア情報送信手段を設けたことを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 5】 請求項 4 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置のハードウェア情報送信手段が、電源投入時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 6】 請求項 4 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置のハードウェア情報送信手段が、定期的に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 7】 請求項 4 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置のハードウェア情報送信手段が、前記中央管理装置との通信実行時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 8】 請求項 4 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設け、

前記画像形成装置のハードウェア情報送信手段が、前記中央管理装置から前記読み取り指令を受信した場合に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 9】 請求項 4 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を格

納するハードウェア情報格納手段と、該ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新するハードウェア情報更新手段とを設けたことを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 0】 請求項 9 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置のハードウェア情報更新手段が、該画像形成装置に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取る手段と、該手段によって読み取ったハードウェア構成に関する情報と前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断する手段とを有し、該手段によってその両情報が一致していないと判断した場合にのみ、前記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 1】 請求項 9 又は 1 0 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置のハードウェア情報更新手段が、電源投入時に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 2】 請求項 9 又は 1 0 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置のハードウェア情報更新手段が、定期的に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 3】 請求項 9 又は 1 0 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記画像形成装置のハードウェア情報更新手段が、前記中央管理装置との通信実行時に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 4】 請求項 1 1 乃至 1 3 のいずれか一項に記載の画像形成装置

管理システムにおいて、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設け、

前記画像形成装置のハードウェア情報送信手段が、前記中央管理装置から前記読み取り指令を受信した場合に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 5】 請求項 9 又は 1 0 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設け、

前記画像形成装置のハードウェア情報更新手段が、前記中央管理装置から前記読み取り指令を受信した場合に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であり、

前記画像形成装置のハードウェア情報送信手段が、前記ハードウェア情報更新手段によって前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報が更新された場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 6】 請求項 4 乃至 1 5 のいずれか一項に記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段が、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとの適合性をチェックする手段を有し、該手段によるチェック結果から前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードする手段であることを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 7】 請求項 1 6 記載の画像形成装置管理システムにおいて、

前記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段が、前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、該更新用のファームウェアを前記データベース内の管理情報と適合するように構築し直し、その構築し直した更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードする手段を有することを特徴とする画像形成装置管理システム。

【請求項 1 8】 コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、前記中央管理装置により、前記通信回線、前記通信アダプタ、および前記専用インタフェースを介して前記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理方法であって、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを予め作成しておき、

該中央管理装置により、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、

該画像形成装置が、電源投入時に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、前記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって前記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新した後、前記中央管理装置から前記読み取り指令を受信した場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って該中央管理装置へ送信し、

該中央管理装置が、前記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって前記データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む前記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを前記前画像形成装置へダウンロードすることを特

徴とする画像形成装置管理方法。

【請求項 1 9】 コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、前記中央管理装置により、前記通信回線、前記通信アダプタ、および前記専用インタフェースを介して前記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理方法であって、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを予め作成しておき、

該中央管理装置により、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、

該画像形成装置が、定期的に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、前記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって前記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新した後、前記中央管理装置から前記読み取り指令を受信した場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って該中央管理装置へ送信し、

該中央管理装置が、前記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって前記データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む前記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードすることを特徴とする画像形成装置管理方法。

【請求項 2 0】 コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、前記中央管理装置により、前記通信回線、前記通信アダプタ、および前記専用インタフェースを介して前記画像形成装置を遠

隔管理する画像形成装置管理方法であって、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを予め作成しておき、

該中央管理装置により、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、

該画像形成装置が、前記中央管理装置との通信実行時に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、前記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって前記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新した後、前記中央管理装置から前記読み取り指令を受信した場合に、前記更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って該中央管理装置へ送信し、

該中央管理装置が、前記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって前記データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む前記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードすることを特徴とする画像形成装置管理方法。

【請求項 2 1】 コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、前記中央管理装置により、前記通信回線、前記通信アダプタ、および前記専用インタフェースを介して前記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理方法であって、

前記中央管理装置に、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを予め作成しておき、

該中央管理装置により、前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の

読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、

該画像形成装置が、前記中央管理装置から前記読み取り指令を受信した場合に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、前記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって前記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新し、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信し、

該中央管理装置が、前記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって前記データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む前記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードすることを特徴とする画像形成装置管理方法。

【請求項 2 2】 請求項 1 8 乃至 2 1 のいずれか一項に記載の画像形成装置管理方法において、

前記中央管理装置が、前記適合性のチェック結果から前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、該更新用のファームウェアを前記データベース内の管理情報と適合するように構築し直し、その構築し直した更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードすることを特徴とする画像形成装置管理方法。

【請求項 2 3】 画像形成装置に有線又は無線による専用インタフェースを介して接続される通信アダプタと通信回線を介して接続し、該通信回線、前記通信アダプタ、および前記専用インタフェースを介して前記画像形成装置を遠隔管理する中央管理装置において、

前記画像形成装置のハードウェア構成に応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードするファームウェアダウンロード手段を設けたことを

特徴とする中央管理装置。

【請求項 2 4】 請求項 2 3 記載の中央管理装置において、

前記ファームウェアダウンロード手段が、前記画像形成装置のハードウェアを構成する制御基板あるいはユニットに応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする手段であることを特徴とする中央管理装置。

【請求項 2 5】 請求項 2 3 記載の中央管理装置において、

前記ファームウェアダウンロード手段が、前記画像形成装置のハードウェアを構成するファームウェア格納用の 1 個又は複数個の不揮発性メモリに応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする手段であることを特徴とする中央管理装置。

【請求項 2 6】 請求項 2 3 乃至 2 5 のいずれか一項に記載の中央管理装置と前記通信アダプタおよび前記通信回線を介して接続される画像形成装置において、

前記中央管理装置から更新用のファームウェアがダウンロードされた場合に、該ファームウェアによって当該画像形成装置のファームウェアを更新するファームウェア更新手段を設けたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2 7】 請求項 2 6 記載の画像形成装置において、

当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信するハードウェア情報送信手段を設けたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2 8】 請求項 2 7 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報送信手段が、電源投入時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2 9】 請求項 2 7 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報送信手段が、定期的に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3 0】 請求項 2 7 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報送信手段が、前記中央管理装置との通信実行時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3 1】 請求項 2 3 乃至 2 5 のいずれか一項に記載の中央管理装置において、

前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを格納する手段と、前記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって前記データベースを更新するデータベース更新手段とを設けたことを特徴とする中央管理装置。

【請求項 3 2】 請求項 2 3 乃至 2 5 のいずれか一項に記載の中央管理装置において、

前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設けたことを特徴とする中央管理装置。

【請求項 3 3】 請求項 2 7 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報送信手段が、前記中央管理装置からハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を受信した場合に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3 4】 請求項 3 2 記載の中央管理装置において、

前記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを格納する手段と、前記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって前記データベースを更新するデータベース更新手段とを設けたことを特徴とする中央管理装置。

【請求項 3 5】 請求項 2 7 記載の画像形成装置において、

当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を格納するハードウェア情報格納手段と、該ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新するハードウェア情報更新手段とを設けたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3 6】 請求項 3 5 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報更新手段が、該画像形成装置に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取る手段と、該手段によって読み取ったハードウェア構成に関する情報と前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断する手段とを有し、該手段によってその両情報が一致していないと判断した場合にのみ、前記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3 7】 請求項 3 5 又は 3 6 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報更新手段が、電源投入時に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3 8】 請求項 3 5 又は 3 6 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報更新手段が、定期的に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3 9】 請求項 3 5 又は 3 6 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報更新手段が、前記中央管理装置との通信実行時に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4 0】 請求項 3 7 乃至 3 9 のいずれか一項に記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報送信手段が、前記中央管理装置からハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を受信した場合に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4 1】 請求項 3 5 又は 3 6 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報更新手段が、前記中央管理装置からハードウェア構成に

関する情報の読み取り指令を受信した場合に、前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4 2】 請求項 4 1 記載の画像形成装置において、

前記ハードウェア情報送信手段が、前記ハードウェア情報更新手段によって前記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報が更新された場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って前記中央管理装置へ送信する手段であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4 3】 請求項 3 1 又は 3 4 記載の中央管理装置において、

前記ファームウェアダウンロード手段が、前記ハードウェア構成に関する情報を含む前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとの適合性をチェックする手段を有し、該手段によるチェック結果から前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードする手段であることを特徴とする中央管理装置。

【請求項 4 4】 請求項 4 3 記載の中央管理装置において、

前記ファームウェアダウンロード手段が、前記データベース内の管理情報と前記更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、該更新用のファームウェアを前記データベース内の管理情報と適合するように構築し直し、その構築し直した更新用のファームウェアを前記画像形成装置へダウンロードする手段を有することを特徴とする中央管理装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、コンピュータを備えた中央管理装置と複写機等の画像形成装置とを通信回線、通信アダプタ、有線又は無線による専用インタフェースを介して接続して構成した画像形成装置管理システムおよび画像形成装置管理方法と、そのシステムを構成する中央管理装置および画像形成装置に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

画像形成装置管理システムとしては、公衆通信回線（又は専用通信回線等の他の通信回線）を利用し、更に遠隔地の各ユーザ（顧客）側の通信アダプタおよび有線又は無線による専用インタフェースを使用して、ユーザ側に設置されている画像形成装置（複写機、プリンタ、印刷機、ファクシミリ装置等を総称する）をサービスセンタに設置された中央管理装置（センタシステム）と接続可能にしたものが知られている。

【0003】

このような画像形成装置管理システムとして、ユーザ側に設置されている画像形成装置のユーザ個別仕様あるいは設計変更対応のため、センタシステムが、ユーザ側に設置されている画像形成装置のファームウェアのバージョンを監視し、例えばファームウェアの更新が必要になった画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアの更新（バージョンアップ）を行わせるようにしたものもある。

【0004】

ここで、画像形成装置のファームウェアとは、例えば標準構成に対応する機器プログラム（画像形成装置本体を制御するための機器プログラム）、オプション構成に対応する機器プログラム（自動原稿給送装置、ソータ、フィニッシャ等のオプション機器を制御するための機器プログラム）、あるいはその両方の機器プログラムをさす。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したような従来の画像形成装置では、通常、センタシステムが、遠隔管理する画像形成装置の機種・機番、ファームウェアのバージョン等のファームウェア構成に関する情報、もしくはオプション構成データを機器管理データベース（以下「データベース」を「DB」ともいう）に維持しており、ハードウェア（制御基板、ユニット、ROM等）のバージョン等のハードウェア構成に関する情報の管理は行っておらず、そのために以下の（１）～（３）に示すような問題があった。

【 0 0 0 6 】

(1) C E (サービスマン又はサービスエンジニア) が、例えばファームウェアの更新が必要な画像形成装置 (該当する画像形成装置) のハードウェアの交換を実施した場合に、センタオペレータ (センタシステムのオペレータ) に対して実施済み報告を行わなかった場合、センタシステムの機器管理 D B 内の管理情報と該当する画像形成装置に実際に搭載されているハードウェア構成に関する情報が一致しなくなる。

【 0 0 0 7 】

(2) この状態で、以降何らかの理由により、該当する画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアを更新させる処理を実施した場合、ファームウェアがハードウェアに適合せず、不具合発生の要因となる可能性がある。

(3) その不具合の発生を回避するためには、ファームウェアを更新させる処理を実施するに先立ち、C E がユーザ先へ赴き、該当するハードウェアのバージョンを調査することが必要となり、その分だけ時間と手間が生ずる。また、その調査結果をセンタオペレータがセンタシステムに手入力するといった大きな手間も発生する。さらに、それによる入力誤り等を招く可能性もある。

【 0 0 0 8 】

この発明は上記の問題点に鑑みてなされたものであり、中央管理装置がユーザ先に設置されている画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアの更新を行わせる場合、その画像形成装置のハードウェア構成に適合するファームウェアのダウンロードを経済的且つ効率的に行えるようにすることを目的とする。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

この発明は、上記の目的を達成するため、画像形成装置管理システムおよび画像形成装置管理方法とそれに使用する中央管理装置並びに画像形成装置を提供する。

請求項 1 の発明による画像形成装置管理システムは、コンピュータを備えた中

央管理装置と、該中央管理装置に通信回線を介して接続する通信アダプタと、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して接続する画像形成装置とによって構成され、上記中央管理装置が、上記通信回線、上記複数の通信アダプタ、および上記専用インタフェースを介して上記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理システムにおいて、以下に示すようにしたことを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

すなわち、請求項 1 の発明による画像形成装置管理システムは、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードするファームウェアダウンロード手段を設け、上記画像形成装置に、上記中央管理装置から更新用のファームウェアがダウンロードされた場合に、該ファームウェアによって当該画像形成装置のファームウェアを更新するファームウェア更新手段を設けたものである。

請求項 2 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 1 の画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段を、上記画像形成装置のハードウェアを構成する制御基板あるいはユニットに応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする手段としたものである。

【 0 0 1 1 】

請求項 3 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 1 の画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段を、上記画像形成装置のハードウェアを構成するファームウェア格納用の 1 個又は複数個の不揮発性メモリに応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする手段としたものである。

請求項 4 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 1 ～ 3 のいずれかの画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するデータベースを格納する手段と、上記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって上記データベースを更新するデータベース更新手段とを設け、上記画像形

成装置に、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信するハードウェア情報送信手段を設けたものである。

【 0 0 1 2 】

請求項 5 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 4 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置のハードウェア情報送信手段を、電源投入時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

請求項 6 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 4 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置のハードウェア情報送信手段を、定期的に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 1 3 】

請求項 7 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 4 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置のハードウェア情報送信手段を、上記中央管理装置との通信実行時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

請求項 8 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 4 の画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設け、上記画像形成装置のハードウェア情報送信手段を、上記中央管理装置から上記読み取り指令を受信した場合に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 1 4 】

請求項 9 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 4 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を格納するハードウェア情報格納手段と、該ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新するハードウェア情報更新手段とを設けたものである。

【 0 0 1 5 】

請求項 1 0 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 9 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置のハードウェア情報更新手段が、該画像形成装置に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取る手段と、該手段によって読み取ったハードウェア構成に関する情報と上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断する手段とを有し、該手段によってその両情報が一致していないと判断した場合にのみ、上記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であるものである。

【 0 0 1 6 】

請求項 1 1 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 9 又は 1 0 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置のハードウェア情報更新手段を、電源投入時に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段としたものである。

請求項 1 2 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 9 又は 1 0 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置のハードウェア情報更新手段を、定期的に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段としたものである。

【 0 0 1 7 】

請求項 1 3 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 9 又は 1 0 の画像形成装置管理システムにおいて、上記画像形成装置のハードウェア情報更新手段を、上記中央管理装置との通信実行時に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段としたものである。

請求項 1 4 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 1 1 ～ 1 3 のいずれかの画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設け、上記画像形成装置のハード

ウェア情報送信手段を、上記中央管理装置から上記読み取り指令を受信した場合に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 1 8 】

請求項 1 5 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 9 又は 1 0 の画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設け、上記画像形成装置のハードウェア情報更新手段を、上記中央管理装置から上記読み取り指令を受信した場合に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段とし、上記画像形成装置のハードウェア情報送信手段を、上記ハードウェア情報更新手段によって上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報が更新された場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 1 9 】

請求項 1 6 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 4 ～ 1 5 のいずれかの画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段が、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとの適合性をチェックする手段を有し、該手段によるチェック結果から上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードする手段であるものである。

請求項 1 7 の発明による画像形成装置管理システムは、請求項 1 6 の画像形成装置管理システムにおいて、上記中央管理装置のファームウェアダウンロード手段に、上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、該更新用のファームウェアを上記データベース内の管理情報と適合するように構築し直し、その構築し直した更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードする手段を備えたものである。

【 0 0 2 0 】

請求項 1 8 の発明による画像形成装置管理方法は、コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、上記中央管理装置により、上記通信回線、上記通信アダプタ、および上記専用インタフェースを介して上記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理方法であって、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを予め作成しておき、該中央管理装置により、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、該画像形成装置が、電源投入時に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、上記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって上記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新した後、上記中央管理装置から上記読み取り指令を受信した場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って該中央管理装置へ送信し、該中央管理装置が、上記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって上記データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む上記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードするものである。

【 0 0 2 1 】

請求項 1 9 の発明による画像形成装置管理方法は、コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、上記中央管理装置により、上記通信回線、上記通信アダプタ、および上記専用インタフェースを介して上記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理方法であって、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理する

ためのデータベースを予め作成しておき、該中央管理装置により、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、該画像形成装置が、定期的に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、上記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって上記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新した後、上記中央管理装置から上記読み取り指令を受信した場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って該中央管理装置へ送信し、該中央管理装置が、上記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって上記データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む上記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードするものである。

【 0 0 2 2 】

請求項 2 0 の発明による画像形成装置管理方法は、コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、上記中央管理装置により、上記通信回線、上記通信アダプタ、および上記専用インタフェースを介して上記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理方法であって、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを予め作成しておき、該中央管理装置により、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、該画像形成装置が、上記中央管理装置との通信実行時に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断

し、その両情報が一致していない場合にのみ、上記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって上記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新した後、上記中央管理装置から上記読み取り指令を受信した場合に、上記更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って該中央管理装置へ送信し、該中央管理装置が、上記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって上記データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む上記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードするものである。

【 0 0 2 3 】

請求項 2 1 の発明による画像形成装置管理方法は、コンピュータを備えた中央管理装置に通信回線を介して通信アダプタを接続し、該通信アダプタに有線又は無線による専用インタフェースを介して画像形成装置を接続して、上記中央管理装置により、上記通信回線、上記通信アダプタ、および上記専用インタフェースを介して上記画像形成装置を遠隔管理する画像形成装置管理方法であって、上記中央管理装置に、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを予め作成しておき、該中央管理装置により、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信し、該画像形成装置が、上記中央管理装置から上記読み取り指令を受信した場合に、自己に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とメモリに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、上記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって上記メモリに格納されているハードウェア構成に関する情報を更新し、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信し、該中央管理装置が、上記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって上記デー

データベースを更新した後、該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む上記データベース内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードするものである。

【 0 0 2 4 】

請求項 2 2 の発明による画像形成装置管理方法は、請求項 1 8 ～ 2 1 のいずれかの画像形成装置管理方法において、上記中央管理装置が、上記適合性のチェック結果から上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、該更新用のファームウェアを上記データベース内の管理情報と適合するように構築し直し、その構築し直した更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードするものである。

【 0 0 2 5 】

請求項 2 3 の発明による中央管理装置は、画像形成装置に有線又は無線による専用インタフェースを介して接続される通信アダプタと通信回線を介して接続し、該通信回線、上記通信アダプタ、および上記専用インタフェースを介して上記画像形成装置を遠隔管理する中央管理装置において、上記画像形成装置のハードウェア構成に応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードするファームウェアダウンロード手段を設けたものである。

請求項 2 4 の発明による中央管理装置は、請求項 2 3 の中央管理装置において、上記ファームウェアダウンロード手段を、上記画像形成装置のハードウェアを構成する制御基板あるいはユニットに応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする手段としたものである。

【 0 0 2 6 】

請求項 2 5 の発明による中央管理装置は、請求項 2 3 の中央管理装置において、上記ファームウェアダウンロード手段を、上記画像形成装置のハードウェアを構成するファームウェア格納用の 1 個又は複数個の不揮発性メモリに応じて該画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする手段としたものである。

請求項 2 6 の発明による画像形成装置は、請求項 2 3 乃至 2 5 のいずれか一項に記載の中央管理装置と上記通信アダプタおよび上記通信回線を介して接続される画像形成装置において、上記中央管理装置から更新用のファームウェアがダウンロードされた場合に、該ファームウェアによって当該画像形成装置のファームウェアを更新するファームウェア更新手段を設けたものである。

【 0 0 2 7 】

請求項 2 7 の発明による画像形成装置は、請求項 2 6 の画像形成装置において、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信するハードウェア情報送信手段を設けたものである。

請求項 2 8 の発明による画像形成装置は、請求項 2 7 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報送信手段を、電源投入時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

請求項 2 9 の発明による画像形成装置は、請求項 2 7 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報送信手段を、定期的に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 2 8 】

請求項 3 0 の発明による画像形成装置は、請求項 2 7 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報送信手段を、上記中央管理装置との通信実行時に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

請求項 3 1 の発明による中央管理装置は、請求項 2 3 ～ 2 5 のいずれかの中央管理装置において、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを格納する手段と、上記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって上記データベースを更新するデータベース更新手段とを設けたものである。

【 0 0 2 9 】

請求項 3 2 の発明による中央管理装置は、請求項 2 3 ～ 2 5 のいずれかの中央管理装置において、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を該画像形成装置へ送信するハードウェア情報読み取り指令送信手段を設

けたものである。

請求項 3 3 の発明による画像形成装置は、請求項 2 7 の画像形成装置において

上記ハードウェア情報送信手段を、上記中央管理装置からハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を受信した場合に、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 3 0 】

請求項 3 4 の発明による中央管理装置は、請求項 3 2 の中央管理装置において、上記画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を管理するためのデータベースを格納する手段と、上記画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、該情報によって上記データベースを更新するデータベース更新手段とを設けたものである。

請求項 3 5 の発明による画像形成装置は、請求項 2 7 の画像形成装置において、当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を格納するハードウェア情報格納手段と、該ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新するハードウェア情報更新手段とを設けたものである。

【 0 0 3 1 】

請求項 3 6 の発明による画像形成装置は、請求項 3 5 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報更新手段が、該画像形成装置に実際に搭載されているハードウェアからバージョン情報等のハードウェア構成に関する情報を読み取る手段と、該手段によって読み取ったハードウェア構成に関する情報と上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断する手段とを有し、該手段によってその両情報が一致していないと判断した場合にのみ、上記読み取ったハードウェア構成に関する情報によって上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段であるものである。

【 0 0 3 2 】

請求項 3 7 の発明による画像形成装置は、請求項 3 5 又は 3 6 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報更新手段を、電源投入時に、上記ハードウェア

情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段としたものである。

請求項 3 8 の発明による画像形成装置は、請求項 3 5 又は 3 6 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報更新手段を、定期的に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段としたものである。

【 0 0 3 3 】

請求項 3 9 の発明による画像形成装置は、請求項 3 5 又は 3 6 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報更新手段を上記中央管理装置との通信実行時に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段としたものである。

請求項 4 0 の発明による画像形成装置は、請求項 3 7 ～ 3 9 のいずれかの画像形成装置において、上記ハードウェア情報送信手段を、上記中央管理装置からハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を受信した場合に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 3 4 】

請求項 4 1 の発明による画像形成装置は、請求項 3 5 又は 3 6 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報更新手段を、上記中央管理装置からハードウェア構成に関する情報の読み取り指令を受信した場合に、上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報を更新する手段としたものである。

請求項 4 2 の発明による画像形成装置は、請求項 4 1 の画像形成装置において、上記ハードウェア情報送信手段を、上記ハードウェア情報更新手段によって上記ハードウェア情報格納手段に格納されているハードウェア構成に関する情報が更新された場合に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取って上記中央管理装置へ送信する手段としたものである。

【 0 0 3 5 】

請求項 4 3 の発明による中央管理装置は、請求項 3 1 又は 3 4 の中央管理装置

において、上記ファームウェアダウンロード手段が、上記ハードウェア構成に関する情報を含む上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとの適合性をチェックする手段を有し、該手段によるチェック結果から上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、該更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードする手段であるものである。

請求項 4 4 の発明による中央管理装置は、請求項 4 3 の中央管理装置において、上記ファームウェアダウンロード手段に、上記データベース内の管理情報と上記更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、該更新用のファームウェアを上記データベース内の管理情報と適合するように構築し直し、その構築し直した更新用のファームウェアを上記画像形成装置へダウンロードする手段を備えたものである。

【 0 0 3 6 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施形態を図面に基づいて具体的に説明する。

図 1 は、この発明を実施する画像形成装置管理システムの構成例を示すブロック図、図 2 はそのセンタシステムの構成例を示すブロック図である。

この画像形成装置管理システムは、サービスセンタ S に設置されている中央管理装置としてのセンタシステム 1 と、各顧客先（ユーザ側）A、B にそれぞれ設置されている電子機器類とによって構成されている。

なお、各顧客先 A、B における交換機の図示は省略している。

【 0 0 3 7 】

センタシステム 1 は、図 2 に示すように、複数のクライアントコンピュータ（以下単に「クライアント」という）2 a、2 b、……と、サーバ 3 と、それらを相互に接続する LAN（ローカル・エリア・ネットワーク）等のネットワーク 4 とによって構成されている。

顧客先 A の電子機器類は、図 1 に示すように、サービスセンタ S のセンタシステム 1 に公衆通信回線網（専用通信回線等の他の通信回線でもよい）5 を介して接続する通信アダプタ 1 1 と、ファクシミリ装置（FAX）1 2、複写機 1 3、

プリンタ 14、印刷機 15 を含む複数の画像形成装置と、その各画像形成装置と通信アダプタ 11 とを接続する有線による専用インタフェース（以下「インタフェース」を「I/F」という）16 によって構成されている。

【0038】

顧客先 B の電子機器類は、サービスセンタ S のセンタシステム 1 に公衆通信回線網 5 を介して接続する通信アダプタ 21 と、ファクシミリ装置 22、複写機 23、プリンタ 24 を含む複数の画像形成装置と、ファクシミリ装置 22 と通信アダプタ 21 とを接続する有線による専用 I/F 25 と、複写機 23、プリンタ 24 を含む複数の画像形成装置と通信アダプタ 21 とを接続する無線による専用 I/F 26 によって構成されている。

無線による専用 I/F 26 は、通信アダプタ 21、複写機 23、プリンタ 24 にそれぞれ接続されている無線装置 26a、26b、26c からなる。

なお、有線による専用 I/F 16 および無線による専用 I/F 26 に代えて、LAN 等のネットワークを使用することもできる。

【0039】

図 3 は、クライアント 2a、2b、……、サーバ 3 の構成例を示すブロック図である。

クライアント 2a は、CPU 31、リアルタイムクロック回路 32、ROM 33、RAM 34、通信制御ユニット 35a、35b、……、外部メモリ制御ユニット 36、表示制御ユニット 37、キーボード I/F 回路部 38、ネットワーク I/F ユニット 39、ハードディスク装置 40、CRT ディスプレイ 41、キーボード 42 等によって構成されている。なお、クライアント 2b もクライアント 2a と同様の構成なので、ネットワーク I/F ユニット 39 以外の各部の図示および説明は省略する。さらに、センタシステム 1 内の他のクライアントもクライアント 2a と同様の構成なので、図示および説明は省略する。

【0040】

CPU 31 は、ROM 33 内の制御プログラムによってクライアント 2a 全体を統括的に制御する中央処理装置である。

リアルタイムクロック回路 32 は、時刻情報を発生するものであり、CPU 3

1 がそれを読み込むことによって現在の時刻を知ることができる。

ROM 3 3 は、CPU 3 1 が使用する制御プログラムを含む各種固定データを格納している読み出し専用メモリである。

RAM 3 4 は、CPU 3 1 がデータ処理を行う際に使用するワークメモリ等として使用する読み書き可能なメモリである。

通信制御ユニット 3 5 a, 3 5 b は、それぞれ公衆通信回線網 5 を介して外部機器との通信を制御する。

【 0 0 4 1 】

外部メモリ制御ユニット 3 6 は、ハードディスク装置（以下「HDD」と略称する）4 0 とのインタフェース制御を行う。

表示制御ユニット 3 7 は、CRTディスプレイ 4 1（LCDディスプレイ等の他の表示部でもよい）とのインタフェース制御を行う。

キーボード I / F 回路部 3 8 は、キーボード 4 2 とのインタフェース制御を行う。

ネットワーク I / F ユニット 3 9 は、ネットワーク 4 に接続されているクライアント 2 b 等の他のクライアントやサーバ 3 とのインタフェース制御を行う。

【 0 0 4 2 】

サーバ 3 は、CPU 5 1, リアルタイムクロック回路 5 2, ROM 5 3, RAM 5 4, 外部メモリ制御ユニット 5 5, 表示制御ユニット 5 6, キーボード I / F 回路部 5 7, ネットワーク I / F ユニット 5 8, HDD 5 9, CRTディスプレイ 6 0, キーボード 6 1 等によって構成されている。

CPU 5 1 は、ROM 5 3 内の制御プログラムによってサーバ 3 全体を統括的に制御する中央処理装置である。

リアルタイムクロック回路 5 2 は、時刻情報を発生するものであり、CPU 5 1 がそれを読み込むことによって現在の時刻を知ることができる。

【 0 0 4 3 】

ROM 5 3 は、CPU 5 1 が使用する制御プログラムを含む各種固定データを格納している読み出し専用メモリである。

RAM 5 4 は、CPU 5 1 がデータ処理を行う際に使用するワークメモリ等と

して使用する読み書き可能なメモリである。

外部メモリ制御ユニット55は、HDD59とのインタフェース制御を行う。

HDD59は、図2に示すような顧客DB59a、機器管理DB（各画像形成装置のハードウェア構成に関する情報やファームウェア構成に関する情報を一括管理するためのDB）59bを格納する。これらのDBは、予めセンタオペレータ等が作成しておく。

【0044】

ここで、顧客DB59aは、例えば図4に示すように、画像形成装置の機種・機番、その画像形成装置を購入した顧客ID、顧客名、住所、ビル名、顧客担当者名、顧客担当者電話番号、通信アダプタ機種・機番、通信アダプタ接続番号、担当サービス区の各々の拠点名、連絡先、担当CEなどの顧客を特定するための情報（顧客情報）を格納している。

機器管理DB59bは、例えば図5に示すように、画像形成装置の機種・機番（他の識別情報でもよい）、画像形成装置のハードウェアを構成する制御基板、ROM、およびユニットのバージョン番号（他のハードウェア構成に関する情報でもよい）や、図示は省略するが、画像形成装置のファームウェアのバージョン等のファームウェア構成に関する情報など、各種の管理情報を格納している。

【0045】

表示制御ユニット56は、CRTディスプレイ60（LCDディスプレイ等の他の表示部でもよい）とのインタフェース制御を行う。

キーボードI/F回路部57は、キーボード61とのインタフェース制御を行う。

ネットワークI/Fユニット58は、ネットワーク4に接続されているクライアント2a、2b、……とのインタフェース制御を行う。

【0046】

ここで、センタシステム1のCPU（クライアント2a、2b、……、サーバ3内の各CPU）が、ROMに予め格納された制御プログラム（ファームウェア以外）に従って動作することにより、この発明による各種機能（ファームウェアダウンロード手段、ハードウェア情報読み取り指令送信手段、データベース更新

手段等）を実現することができる。

あるいは、内蔵のあるいは外付けのフロッピディスク装置あるいは光ディスク装置等のディスク装置によって、挿着された記録媒体（フロッピディスクや光ディスク等のディスク）に記録されている制御プログラムを読み込んで、内蔵のHDD（ハードディスク装置）内のハードディスクあるいは不揮発性メモリやRAMにインストールし、その制御プログラムに従って動作することにより上記各種機能を実現することもできる。

【0047】

図6は、図1の通信アダプタ11の構成例を示すブロック図である。なお、通信アダプタ21も同様の構成なので、その図示および説明は省略する。

公衆通信回線網5からのデータは、まず回線切替回路71に入力される。ここでは、公衆通信回線網5側からの通信が通信アダプタ11に接続されているファクシミリ装置（FAX）12宛のものであれば、公衆通信回線網5側をファクシミリ装置12に接続し、センタシステム1からの通信であれば、公衆通信回線網5側をモデム72に接続する。

また、RS-485用のトランシーバ等を用いた通信インタフェース（S I / O）73によって複写機13等の画像形成装置側との通信を行う。

【0048】

これらの制御・処理は、ROM75内の制御プログラムに従ってCPU74を中心に行われる。

RAM76は、各種データを一時的に格納しておくためにも用いる。このRAM76には、バックアップ用の電池（バッテリー）77が接続されている。

スイッチ78は、各種モードを選択的に設定するためのものである。

通信アダプタ11、21はそれぞれ、自己に接続されている各画像形成装置に対して、絶えず周期的に、且つこれらに付与されたデバイスアドレス順にポーリング動作を行う。

【0049】

図7は、図1の複写機13、23の制御系の第1構成例を示すブロック構成図である。

複写機 1 3, 2 3 の制御は、CPU 1 0 1 を中心として ROM 1 0 2 に記憶されている制御プログラム（ファームウェアを含む）やデータに基づいて行われる。また、処理の中間結果や各種設定値、装置の状態などを蓄えるために RAM 1 0 3 を使用する。

【 0 0 5 0 】

なお、ROM 1 0 2 は書き換え可能なフラッシュ ROM であり、詳細は後述するが、センタシステム 1 からダウンロードされるファームウェアによって内部のファームウェアの更新（書き換え）が行われる。この ROM 1 0 2 の代わりに、電池によってバックアップされた RAM 等の他の不揮発性メモリを用いてもよい。また、ファームウェア格納専用のフラッシュ ROM や電池によってバックアップされた RAM 等の不揮発性メモリを用いてもよい。さらに、RAM 1 0 3 は、電池によってバックアップされた RAM 等の不揮発性メモリである。

【 0 0 5 1 】

A/D コンバータ 1 0 4 は、露光ランプへの供給電圧、P センサの発光電圧と受光電圧、電位センサの出力、ADS センサの出力、露光ランプの光量を検出するランプ光量センサの出力、感光体ドラムに流れる電流を検出するドラム電流センサの出力、定着ユニット内のサーミスタ電圧等を入力するために使用する。

光学系制御ユニット 1 0 5 は、露光ランプを制御する。

高圧電源ユニット 1 0 6 は、帯電チャージャ、分離チャージャ、転写チャージャ、転写前チャージャ（PTC）にそれぞれ印加する高電圧、および現像ユニット内の現像ローラに印加する現像バイアス電圧を供給する。

モータ制御ユニット 1 0 7 は、感光体ドラムおよび各給紙ユニットや搬送部のローラ等を駆動するメインモータのコントロールを行う。

【 0 0 5 2 】

ヒータ制御ユニット 1 0 8 は、定着ユニットの定着ローラを加熱する定着ヒータへの通電を制御して、定着ローラの表面温度を所定範囲に保持する。

センサ制御ユニット 1 0 9 は、ランプ光量センサの受光ゲイン、ADS センサの受光ゲイン、P センサの受光ゲイン、P センサの LED の発光電圧等を可変するために使用する。

インタフェース制御ユニット 1 1 0 は、通信アダプタ 1 1, 2 1 との通信を行うユニットである。

操作部 1 1 1 は、各種情報を表示する表示部と、各種情報を入力するスイッチ部（操作キー）とを有する操作・表示パネルである。

【 0 0 5 3 】

図 8 は、図 1 の複写機 1 3, 2 3 の制御系の第 2 構成例を示すブロック構成図、図 9 はその操作部 1 1 1' の制御基板 C2 の構成例を示すブロック図であり、図 7 と同じ部分には同一符号を付して説明を省略する。

図 7 の例では複写機 1 3, 2 3 の制御部を 1 個の CPU を用いて構成しているのに対して、図 8, 図 9 の例では複写機 1 3, 2 3 の制御部を複数の CPU（マルチプロセッサ）を用いて構成している。

すなわち、図 8, 図 9 の例では、複写機 1 3, 2 3 に、図 7 と同様の CPU 1 0 1, ROM 1 0 2, RAM 1 0 3 等からなるマイクロコンピュータ（CPU）を用いた制御基板 C1 の他に、操作部 1 1 1' の操作・表示パネル 1 2 0 を制御するマイクロコンピュータを用いた制御基板 C2 を搭載している。

【 0 0 5 4 】

制御基板 C2 は、例えば図 9 に示すように、CPU 1 1 2, インタフェース回路 1 1 3, ROM 1 1 4, 表示制御回路 1 1 5, スイッチ制御回路 1 1 6 を備えている。

CPU 1 1 2 は、ROM 1 1 4 内の制御プログラム（ファームウェアを含む）に従って制御基板 C2 全体を統括的に制御する中央処理装置である。

インタフェース回路 1 1 3 は、図 8 の制御基板 C1 の CPU 1 0 1 とのインタフェースを制御するものである。

【 0 0 5 5 】

ROM 1 1 4 は、CPU 1 1 2 が使用する制御プログラムを格納している書き換え可能なフラッシュ ROM（ローカルメモリ）であり、詳細は後述するが、センタシステム 1 からダウンロードされるファームウェアによって内部のファームウェアの更新が行われる。この ROM 1 1 4 の代わりに、電池によってバックアップされた RAM 等の他の不揮発性メモリを用いてもよい。また、ファームウェア

ア格納専用のフラッシュROMや電池によってバックアップされたRAM等の不揮発性メモリを用いてもよい。

【 0 0 5 6 】

表示制御回路 1 1 5 は、CPU 1 1 2 からの制御信号に基づいて動作を行い、操作・表示パネル 1 2 0 の表示部の表示を制御する。

スイッチ制御回路 1 1 6 は、操作・表示パネル 1 2 0 のスイッチ部のオン／オフ等の操作を検出し、対応する操作信号をCPU 1 1 2 へ出力する。

なお、図 7、図 8 の各例では、複写機 1 3、2 3 のCPU 1 0 1 が、ROM 1 0 2 内の制御プログラム（ファームウェア以外）に従って動作すると共に、RAM 1 0 3 等を使用することにより、この発明による各種機能（ファームウェア更新手段、ハードウェア情報送信手段、ハードウェア情報格納手段、ハードウェア情報自動更新手段）を実現することができる。

【 0 0 5 7 】

図 1 0 は、図 1 の複写機 1 3、2 3 の制御系の第 3 構成例を示すブロック構成図であり、図 7 ～図 9 と同じ部分には同一符号を付して説明を省略する。

図 1 0 の例でも、図 8、図 9 と同様に、複写機 1 3、2 3 の制御部を複数のCPU（マルチプロセッサ）を用いて構成している。また、この例では、複写機 1 3、2 3 に、機器管理ユニット 1 3 0 を着脱可能に接続している。さらに、この例では、インタフェース制御ユニット 1 1 0 を複写機 1 3、2 3 の本体にではなく機器管理ユニット 1 3 0 に備えている。

【 0 0 5 8 】

機器管理ユニット 1 3 0 は、インタフェース制御ユニット 1 1 0 の他に、CPU 1 3 1、ROM 1 3 2、RAM 1 3 3、インタフェース回路 1 3 4 を備えている。

CPU 1 3 1 は、ROM 1 3 2 内の制御プログラムに従って機器管理ユニット 1 3 0 全体を統括的に制御する中央処理装置である。

ROM 1 3 2 は、CPU 1 3 1 が使用する制御プログラムを格納している読み出し専用メモリである。

RAM 1 3 3 は、CPU 1 3 1 がデータ処理を行う際に使用するワークメモリ

として使用する読み書き可能なメモリであり、電池によってバックアップされている。

【 0 0 5 9 】

インタフェース回路 1 3 4 は、制御基板 C1 の CPU 1 0 1 とのインタフェースを制御するものである。

各種ユニット 1 4 0 は、図 7、図 8 の A / D コンバータ 1 0 4、光学系制御ユニット 1 0 5、高圧電源ユニット 1 0 6、モータ制御ユニット 1 0 7、ヒータ制御ユニット 1 0 8、センサ制御ユニット 1 0 9 からなるものである。

表示・スイッチ制御回路 1 5 0 は、図 9 の表示制御回路 1 1 5 およびスイッチ制御回路 1 1 6 からなるものである。

【 0 0 6 0 】

ここで、図 1 0 の例では、複写機 1 3、2 3 に接続された機器管理ユニット 1 3 0 内の CPU 1 3 1 が、ROM 1 3 2 内の制御プログラムに従って動作することにより、この発明による各種機能（ファームウェア更新手段、ハードウェア情報送信手段、ハードウェア情報格納手段、ハードウェア情報自動更新手段）を実現することができる。

以上、複写機 1 3、2 3 の制御系について説明したが、プリンタ 1 4、2 4 等の他の画像形成装置も、同様な制御系を備えているので、それらの図示および説明は省略する。

【 0 0 6 1 】

以下、この画像形成装置管理システムにおけるこの発明に係わる処理動作について、図 1 1 以降の各図面も参照して具体的に説明する。

図 1 1 ～図 1 4、図 1 6、図 1 7 は、この発明に係わる処理動作のそれぞれ異なる実施形態（各請求項に対応する）を示すフローチャートである。

【 0 0 6 2 】

〔第 1 実施形態：図 1 1、図 1 2〕

図 1 1 は、センタシステム 1 におけるファームウェアダウンロード処理の一例を示すフローチャートである。

図 1 2 は、各ユーザ先に設置されている画像形成装置（複写機 1 3、2 3 を含

む各画像形成装置）におけるファームウェア更新処理の一例を示すフローチャートである。

センタシステム 1 では、何らかの理由により、各ユーザ先に設置されている管理対象の画像形成装置のうち、例えば 1 台又は複数台の画像形成装置のファームウェアの更新が必要となった場合、センタオペレータによってファームウェア更新対象の画像形成装置に対する指定入力操作が行われる。

例えば、ファームウェア更新対象の画像形成装置の機種（指定機種）、ハードウェア構成（制御基板、ユニット、又は R O M）、およびそのバージョン番号等のハードウェア構成に関する情報がキーワードとして指定入力される。

【 0 0 6 3 】

センタシステム 1 の C P U は、図 1 1 に示すように、ファームウェア更新対象の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報がキーワードとして指定入力された後、ファームウェアのダウンロードを開始するためのキー操作が行われる（動作開始キーがオンになる）と、各ユーザ先にそれぞれ設置されている画像形成装置についての管理データ（管理情報）が格納（保存）されている機器管理 D B 5 9 b（図 5 参照）を検索する。

ここで、その検索動作は、ハードウェア構成単位毎あるいは全部について、指定入力情報と一致するもの、指定バージョン番号以上又は指定バージョン番号以下のものの如く検索条件を設定することも可能である。

そして、検索動作によって機器管理 D B 5 9 b から該当する画像形成装置（ファームウェア更新対象の画像形成装置）の機種・機番を抽出（検索）し、機器抽出リストを自動生成する。

【 0 0 6 4 】

続いて、その生成した機器抽出リストの機種・機番をキーワードとして、顧客 D B 5 9 a を自動検索し、該当する画像形成装置（全該当機器）に接続されている通信アダプタの接続電話番号または F A X 番号を抽出した後、その番号をダイヤルして発呼し、その発呼先の画像形成装置へ更新用のファームウェア（ハード構成に応じたもの）をダウンロードする。

各ユーザ先に設置されている画像形成装置の C P U はそれぞれ、図 1 2 に示す

ように、センタシステム1から更新用のファームウェアがダウンロードされた（更新用のファームウェアを受信した）場合に、そのファームウェアによって当該画像形成装置のROM（例えば図7のROM102）内のファームウェアを更新する。

【0065】

ここで、センタシステム1におけるファームウェア更新対象の画像形成装置に対する指定入力操作による検索動作について、もう少し詳細に説明する。

図5の機器管理DB59bに示されているROMC11, C12, …, およびROMC21, C22, …, は、ファームウェアが格納されているメモリであって、ここではフラッシュROMを使用している。また、バージョン番号（Ver.）「0.00」は、未実装を示す。

【0066】

センタシステム1のCPUは、ファームウェア更新対象の画像形成装置に対する指定情報として、画像形成装置のハードウェアを構成する制御基板又はユニットに関する情報、例えば制御基板C1のバージョン番号「1.02」、光学系制御ユニットD1（図7の例では光学系制御ユニット105）のバージョン番号「1.00」、モータ制御ユニットD3（図7の例ではモータ制御ユニット107）のバージョン番号「1.20」が入力されると、機器管理DB59bの検索動作によってXX…2なる機種・機番を抽出して機器抽出リストを自動生成し、以後上述と同様の処理を行う。

機種・機番がXX…2の画像形成装置のCPUは、センタシステム1から更新用のファームウェアがダウンロードされると、そのファームウェアによって当該画像形成装置のROM（図7の例ではROM102）に格納されているファームウェアを更新する。

【0067】

ところで、図7の例は前述したように複写機13, 23の制御部を1個のCPUで構成した例であり、図8, 図9の例は2個のCPU（マルチCPU）で構成した例（操作部111'にCPU112を備えている）である。

センタシステム1のCPUは、ファームウェア更新対象の画像形成装置に対す

る指定情報として、マルチCPUを用いた画像形成装置のハードウェアを構成するファームウェア格納用の1個又は複数個のROM（不揮発性メモリ）に関する情報、例えばROMC21（図8，図9の例ではROM114）のバージョン番号「1.00」が入力されると、機器管理DB59bの検索動作によってXX…2なる機種・機番を抽出して機器抽出リストを自動生成し、以後上述と同様の処理を行う。

【0068】

機種・機番がXX…2の画像形成装置（この例ではマルチCPUを用いた画像形成装置）のCPUは、センタシステム1から更新用のファームウェアがダウンロードされた場合に、そのファームウェアによって当該画像形成装置のROMC21に格納されているファームウェアを更新する。

例えば、機種・機番がXX…2の画像形成装置が図8，図9に示した複写機13であり、ROMC21がROM114であれば、その複写機13の制御基板C1内のCPU101が、制御基板C2のインタフェース回路113およびCPU112を介してROM114に格納されているファームウェアをセンタシステム1よりダウンロードされたファームウェアに更新する。

【0069】

このように、センタシステム1のCPUが、ユーザ先に設置されている画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアの更新を行わせる場合、その画像形成装置のハードウェア構成に応じてその画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードすることにより、その画像形成装置のハードウェア構成に適合するファームウェアのダウンロードを経済的且つ効率的に行うことができる。

すなわち、センタシステム1の機器管理DB59bとユーザ先に設置されている画像形成装置のハードウェア構成との不一致が生ずることがなく、以降更にその画像形成装置へのファームウェアのダウンロードの必要性が生じて、それによる不具合の発生を防止することが可能となる。また、CEがユーザ先へ赴き、ハードウェア構成を調査するといった作業のための時間および手間を削減することができる。

【 0 0 7 0 】

ところで、ユーザ個別仕様もしくは設計変更適用ハードウェアは、主として障害が発生する頻度が高い制御基板もしくはユニットであるため、交換する頻度も高い。

そこで、センタシステム1のCPUが、ユーザ先に設置されている画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアの更新を行わせる場合、その画像形成装置のハードウェアを構成する制御基板あるいはユニットに応じてその画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードすることにより、その画像形成装置のハードウェア構成に適合するファームウェアのダウンロードをより経済的且つ効率的に行うことができる。

【 0 0 7 1 】

また、センタシステム1のCPUが、ユーザ先に設置されている画像形成装置がマルチCPUを用いた画像形成装置であり、その画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアの更新を行わせる場合、その画像形成装置の個々のROM（不揮発性メモリ）のバージョン管理を行い、その画像形成装置のハードウェアを構成するファームウェア格納用の1個又は複数個のROM（不揮発性メモリ）に応じてその画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードするようにすれば、その画像形成装置に個々のROMのファームウェアの更新を容易に行わせることができる。

【 0 0 7 2 】

〔第2実施形態：図13〕

図13は、各ユーザ先に設置されている画像形成装置およびセンタシステム1におけるハードウェア情報更新処理の一例を示すフローチャートである。

各ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUはそれぞれ、主電源（以下単に「電源」ともいう）投入時に、ROM内の制御ソフトウェア（制御プログラム）により、メモリチェック等のイニシャル処理を行った後、不揮発性メモリ（図8の例ではRAM103）内の後述するハードウェア管理テーブルに格納されているハードウェア構成に関する情報（この例ではハードウェアバージョン番号）を読み出し（読み取り）、それを後述する図15の（2）に示すようなフォー

マツでセンタシステム 1 へ送信する。

【 0 0 7 3 】

センタシステム 1 の CPU は、ハードウェア構成に関する情報を受信すると、その情報によって機器管理 DB 5 9 b の内容を更新する。

すなわち、受信したハードウェア構成に関する情報をそれに付加された該当する画像形成装置の機種・機番と一致する機器管理 DB 5 9 b 内のハードウェア構成に関する情報と比較し、両情報が一致しない場合（差異を検出した場合）には、その機器管理 DB 5 9 b 内のハードウェア構成に関する情報を受信したハードウェア構成に関する情報に更新（変更）する。

【 0 0 7 4 】

その後、〔第 1 実施形態〕の項で説明したキー操作により（ファームウェア更新対象の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報がキーワードとして指定入力された後、ファームウェアのダウンロードを開始するためのキー操作が行われることにより）、〔第 1 実施形態〕の項で説明したファームウェアダウンロード処理と同様の処理を行う。

また、各ユーザ先に設置されている画像形成装置の CPU もそれぞれ、〔第 1 実施形態〕の項で説明したファームウェア更新処理と同様の処理を行う。

【 0 0 7 5 】

このように、ユーザ先に設置されている画像形成装置の CPU が、電源投入時に、ハードウェア管理テーブル（ハードウェア情報格納手段）に格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報（管理情報）を読み取ってセンタシステム 1 へ送信し、そのセンタシステム 1 の CPU が、その情報を受信した場合に、その情報によって機器管理 DB 5 9 b 内のハードウェア構成に関する情報を更新することにより、サービスマンによる画像形成装置のハードウェアの交換実施後、センタオペレータに対する実施済み報告の忘れによる不具合発生を防止することが可能になる。また、センタオペレータによる更新入力の手間および入力誤り等を経済的に防止することができる。

また、センタシステム 1 の CPU が〔第 1 実施形態〕の項で説明したファームウェアダウンロード処理と同様の処理を、ユーザ先に設置されている画像形成装

置のCPUが〔第1実施形態〕の項で説明したファームウェア更新処理と同様の処理をそれぞれ行うことにより、第1実施形態と同様の効果も得ることができる。

【0076】

なお、この第2実施形態では、ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUが、電源投入時に、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報（管理情報）をセンタシステム1へ送信するようにしたが、その送信を他のタイミングで実施することもできる。

例えば、定期的（予め設定された日時等）、又はセンタシステム1との通信時（例えばセンタシステム1への保守サービスを行うためのトータルコピー枚数等のステータス情報の送信時やセンタシステム1からの更新用パラメータ、各種指令等の情報の受信時）に、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報（管理情報）をセンタシステム1へ送信することもできる。

【0077】

〔第3実施形態：図14，図15〕

図14は、センタシステム1におけるハードウェア情報読み取り処理の一例を示すフローチャートである。

センタシステム1のCPUは、各ユーザ先に設置されている画像形成装置のうち、必要に応じて1台又は複数台の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令（以下「ハードウェア構成読み取り指令」という）をその画像形成装置へ図15の（1）に示すようなフォーマットで送信する。

なお、図15の（1）（2）に示す各情報のフォーマットでは、通信に必要な通信制御コード等は省略している。

【0078】

各ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUはそれぞれ、センタシステム1からハードウェア構成読み取り指令を受信すると、不揮発性メモリ（図8の例ではRAM103）内の後述するハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報（この例ではハードウェアバ

ージョン番号)を読み出し、それを図15の(2)に示すようなフォーマットでセンタシステム1へ返送する。

【0079】

なお、図15の(2)に示すハードウェア構成に関する情報のフォーマットでは、その情報を返送する画像形成装置(該当する画像形成装置)が搭載(装備)している全てのハードウェア構成に関する情報(この例ではハードウェアバージョン番号)示しており、これに含まれないハードウェア構成に関する情報に対応するハードウェアは未実装であることを示している。

【0080】

センタシステム1のCPUは、ハードウェア構成読み取り指令の送信に対して、ハードウェア構成に関する情報を受信すると、その情報(返送情報)によって機器管理DB59bの内容を更新する(詳しくは〔第2実施形態〕参照)。

その後、〔第1実施形態〕の項で説明したキー操作により(ファームウェア更新対象の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報がキーワードとして指定入力された後、ファームウェアのダウンロードを開始するためのキー操作が行われることにより)、〔第1実施形態〕の項で説明したファームウェアダウンロード処理と同様の処理を行う。

また、各ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUもそれぞれ、〔第1実施形態〕の項で説明したファームウェア更新処理と同様の処理を行う。

【0081】

このように、センタシステム1のCPUが、各ユーザ先に設置されている画像形成装置のうち、必要に応じて1台又は複数台の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令をその画像形成装置へ送信し、その画像形成装置が、その読み取り指令を受信した場合に、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を読み取ってセンタシステム1へ送信し、そのセンタシステム1のCPUが、その情報を受信した場合に、その情報によって機器管理DB59bの内容を更新することにより、その更新を迅速かつ経済的に行える。

【0082】

すなわち、C Eによるユーザ先に設置されている画像形成装置のハードウェア構成の調査作業に要する時間および手間を削減でき、作業ミスが生ずる恐れもなくなる。また、その調査結果をセンタオペレータがセンタシステム1に手入力するといった手間も発生しなくなる。さらに、それによる入力誤り等を招く可能性もなくなる。

また、センタシステム1のCPUが〔第1実施形態〕の項で説明したファームウェアダウンロード処理と同様の処理を、ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUが〔第1実施形態〕の項で説明したファームウェア更新処理と同様の処理をそれぞれ行うことにより、第1実施形態と同様の効果も得ることができる。

【0083】

なお、この第3実施形態では、〔第1実施形態〕の項で説明したキー操作により、ファームウェア更新対象の画像形成装置へファームウェアをダウンロードするようにしたが、ある画像形成装置へのハードウェア構成読み取り指令の送信に対して、その画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信し、その情報によって機器管理DB59bの内容を更新した後、自動的にその画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードするようにすることもできる。

【0084】

〔第4実施形態：図16〕

図16は、各ユーザ先に設置されている画像形成装置およびセンタシステム1におけるハードウェア情報更新処理の他の例を示すフローチャートである。

各ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUはそれぞれ、主電源投入時に、ROM内の制御ソフトウェア（制御プログラム）により、メモリチェック等のイニシャル処理を行った後、当該画像形成装置が装備し得る最大限のハードウェア、つまりそのハードウェアを構成する制御基板C1, C2, …, ROMC11, ROMC12, …, ユニットD1, D2, …に対して順次センス動作を行う。

【0085】

例えば、制御基板C1に対するセンス動作によってその制御基板C1から受け取る（読み取る）応答は、そのバージョン番号（Ver. 番号）「1.00」となる

。センス動作による応答がない場合は、対応するハードウェアは未実装と定義する。

最大限のハードウェアに対してセンス動作を行うことにより、当該画像形成装置に実際に搭載されているハードウェアからハードウェア構成に関する情報（バージョン番号）を読み取り、図 5 の機器管理 DB 5 9 b 内の 1 機種・機番に相当するセンス結果情報を生成し、不揮発性メモリ（図 8 の例では RAM 1 0 3 ）に格納されている当該画像形成装置のハードウェア管理テーブルの内容を更新する。

【 0 0 8 6 】

このとき、センス結果情報（画像形成装置に実際に搭載されているハードウェア構成に関する情報）とハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致するか否かを判断し、両情報が一致していない場合（差異を検出した場合）にのみ、センス結果情報によってハードウェア管理テーブル内の該当箇所（不一致箇所）をセンス結果情報に合わせて更新する。

なお、ハードウェア管理テーブルは、画像形成装置がユーザ先に設置されて最初の主電源投入時においてのみ、上述と同様に最大限のハードウェアに対するセンス動作終了後、その画像形成装置内の不揮発性メモリに格納するようにすれば、何らかの手段により、事前にそのような処理を行うための手間を削減することができる。

【 0 0 8 7 】

不揮発性メモリ内のハードウェア管理テーブルの内容（ハードウェア構成に関する情報）を更新した後は、ハードウェア管理テーブル内の内容とセンタシステム 1 の機器管理 DB 5 9 b 内の内容との差異を防止するため、その更新後のハードウェア管理テーブル内のハードウェア構成に関する情報を読み取って図 1 5 の（ 2 ）に示したようなフォーマットでセンタシステム 1 へ送信する。なお、センス結果情報をセンタシステム 1 へ送信することもできる。

センタシステム 1 の CPU は、ハードウェア構成に関する情報（又はセンス結果情報）を受信すると、その情報によって機器管理 DB 5 9 b の内容を更新する

【 0 0 8 8 】

すなわち、受信したハードウェア構成に関する情報（又はセンス結果情報）をそれに付加された該当する画像形成装置の機種・機番と一致する機器管理 DB 5 9 b 内のハードウェア構成に関する情報と比較し、両情報が一致しない場合（差異を検出した場合）には、その機器管理 DB 5 9 b 内のハードウェア構成に関する情報を受信したハードウェア構成に関する情報に更新する。

その後、〔第 1 実施形態〕の項で説明したキー操作により、〔第 1 実施形態〕の項で説明したファームウェアダウンロード処理と同様の処理を行う。

また、各ユーザ先に設置されている画像形成装置の CPU もそれぞれ、〔第 1 実施形態〕の項で説明したファームウェア更新処理と同様の処理を行う。

【 0 0 8 9 】

このように、ユーザ先に設置されている画像形成装置の CPU が、電源投入時に、ハードウェア管理テーブル（ハードウェア情報格納手段）に格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報（管理情報）を自動的に更新することにより、いつでも最新の管理情報を維持することが可能となる。また、それに伴い、CE によるユーザ先に設置されている画像形成装置のハードウェア構成の調査作業に要する時間および手間をより軽減することができる。

【 0 0 9 0 】

また、ユーザ先に設置されている画像形成装置の CPU が、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を更新する際、当該画像形成装置に実際に搭載されているハードウェアからハードウェア構成に関する情報を読み取り、その読み取ったハードウェア構成に関する情報とハードウェア管理テーブルに格納されているハードウェア構成に関する情報とを比較して両情報が一致するか否かを判断し、その両情報が一致していない場合にのみ、読み取ったハードウェア構成に関する情報によってハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を更新することにより、その更新処理を効率よく行うことができる。

【 0 0 9 1 】

さらに、ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUが、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報が更新された時に、その更新後のハードウェア構成に関する情報を読み取ってセンタシステム1へ送信し、そのセンタシステム1のCPUが、その情報を受信した場合に、その情報によって機器管理DB59b内のハードウェア構成に関する情報を更新することにより、サービスマンによる画像形成装置のハードウェアの交換実施後、センタオペレータに対する実施済み報告の忘れによる不具合発生を確実に防止することができる。また、センタオペレータによる更新入力の手間および入力誤り等を経済的に防止することができる。

【0092】

また、センタシステム1のCPUが〔第1実施形態〕の項で説明したファームウェアダウンロード処理と同様の処理を、ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUが〔第1実施形態〕の項で説明したファームウェア更新処理と同様の処理をそれぞれ行うことにより、第1実施形態と同様の効果も得ることができる。

【0093】

なお、この第4実施形態では、ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUが、電源投入時に、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を更新し、その更新後のハードウェア構成に関する情報をセンタシステム1へ送信するようにしたが、それらの処理を他のタイミングで実施することもできる。

例えば、定期的（予め設定された日時等）に、あるいはセンタシステム1との通信時（例えばセンタシステム1への保守サービスを行うためのトータルコピー枚数等のステータス情報の送信時やセンタシステム1からの更新用パラメータ、各種指令等の情報の受信時）に、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を更新し、その更新後のハードウェア構成に関する情報をセンタシステム1へ送信することもできる。

【0094】

あるいは、センタシステム1のCPUが、第3実施形態と同様に、各ユーザ先

に設置されている画像形成装置のうち、必要に応じて1台又は複数台の画像形成装置へハードウェア構成読み取り指令を図15の(1)に示すようなフォーマットで送信し、その画像形成装置のCPUが、ハードウェア構成読み取り指令を受信した場合に、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を更新し、その更新後のハードウェア構成に関する情報をセンタシステム1へ送信することもできる。

あるいはまた、ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUが、電源投入時、定期的、又はセンタシステム1との通信時に、ハードウェア管理テーブルに格納されている当該画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を更新し、その後センタシステム1からハードウェア構成読み取り指令を受信した場合に、更新後のハードウェア構成に関する情報をセンタシステム1へ送信することもできる。

【0095】

また、ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUが、センタシステム1からファームウェアがダウンロードされた場合に、ハードウェア管理テーブル内の該当個所の更新を行うこともできる。

さらに、図10に示した複写機13, 23では、電源投入時、定期的、センタシステム1との通信実行時、センタシステム1からハードウェア構成読み取り指令を受信した場合、あるいはセンタシステム1からファームウェアがダウンロードされた場合に、機器管理ユニット130のCPU131が、次のように処理を行ってもよい。

【0096】

ROM132内の制御ソフトウェア(制御プログラム)により、インタフェース回路134を介して複写機13, 23の最大限のハードウェアを構成する制御基板C1, C2, ..., ROMC11(ROM102), ROMC12, ..., ROMC21(ROM114), ROMC22, ..., ユニットD1, D2, ... (各種ユニット140)に対して順次センス動作を行う。

すなわち、まず制御基板C1およびROMC11(ROM102)に対してセンス動作を行う。このとき、制御基板C1内のCPU101が、ROMC11に予め格納

された制御基板C1およびROMC11のバージョン番号を、インタフェース回路134を介してCPU131に返送する。

【0097】

機器管理ユニット130のCPU131は、センス動作によって読み取った制御基板C1およびROMC11のバージョン番号によってRAM133内のハードウェア管理テーブルの内容を更新する。つまり、RAM133内のハードウェア管理テーブルの該当箇所（現在の制御基板C1およびROMC11のバージョン番号）を読み取った制御基板C1およびROMC11のバージョン番号に更新する。

続いて、同様にインタフェース回路134を介してROMC12に対してセンス動作を行う。

【0098】

この場合、ROMC12は未実装であり、そのバージョン番号を読み取ることができない（応答がないため）、ROMC12は未実装と判断する。

さらに、制御基板C2, ROMC21 (ROM114), ROMC22, …, ユニットD1, D2, …に対するセンス動作も上述と同様に行い、それによって読み取ったバージョン番号によってRAM133内のハードウェア管理テーブルの内容を更新する。

【0099】

〔第5実施形態：図17～図19〕

図17は、センタシステム1におけるファームウェアダウンロード処理の他の例を示すフローチャートである。なお、各ユーザ先に設置されている画像形成装置におけるファームウェア更新処理は、図12によって説明した第1実施形態と同様である。

【0100】

センタシステム1のCPUは、第1実施形態と同様に、ファームウェア更新対象の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報がキーワードとして指定入力された後、ファームウェアのダウンロードを開始するためのキー操作が行われると、管理対象の各画像形成装置についての管理データ（管理情報）が格納されている機器管理DB59b（図5参照）を検索する。

そして、その検索動作によって機器管理DB59aから該当する画像形成装置（ファームウェア更新対象の画像形成装置）の機種・機番を抽出（検索）し、機器抽出リストを自動生成した後、その生成した機器抽出リストの機種・機番の画像形成装置の管理情報（ハードウェア構成に関する情報を含む）と更新用のファームウェアとの適合性をチェックする。

【0101】

例えば、制御基板C1, ROMC11, ROMC12, 光学系制御ユニットD1, 高压電源ユニットD2, モータ制御ユニットD3, ソータ制御ユニットD4のバージョン番号がそれぞれ図18に示す「1.00」「1.22」「1.00」「1.20」「1.00」「1.10」「0.00」の画像形成装置がファームウェア更新対象の画像形成装置である場合、それらのバージョン番号（ハードウェア構成に関する情報）をキーワードとして図5に示した機器管理DB59bを検索し、その機器管理DB59b内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックする。

【0102】

この場合、上記各バージョン番号と一致するものが機器管理DB59b内の機種・機番「XX…1」の管理情報に存在するため、上記適合性のチェック結果からDB59b内の管理情報と更新用のファームウェアとが適合すると認識する。

また、機器管理DB59b内の管理情報と更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、その更新用のファームウェアを機器管理DB59b内の管理情報と適合するように構築し直す。

機器管理DB59b内の管理情報と更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合、あるいは更新用のファームウェアを機器管理DB59b内の管理情報と適合するように構築し直した後は、先に生成した機器抽出リストの機種・機番をキーワードとして、顧客DB59aを自動検索し、該当する画像形成装置が接続されている通信アダプタの接続電話番号またはFAX番号を抽出する。

【0103】

その後、抽出した番号をダイヤルして発呼し、その発呼先の画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする。実際には、更新用のファームウェア

に更新用のハードウェアに関する情報（バージョン番号等）を付加し、ファームウェア更新データとしてダウンロードする。

例えば、該当する画像形成装置が「XX…1」の画像形成装置である場合、その制御基板C1、ROMC11の各バージョン番号が「1.02」「1.20」に更新されるように、またそのROMC11内のファームウェアがその各バージョン番号「1.02」「1.20」に続くファームウェアに更新されるように、「XX…1」の画像形成装置へファームウェア更新データをダウンロードする。

【0104】

各ユーザ先に設置されている画像形成装置のCPUはそれぞれ、センタシステム1からファームウェア更新用データがダウンロードされると、そのデータ中の更新用のファームウェアによって当該画像形成装置のROM内のファームウェアを更新する。

例えば、ファームウェア更新用データがダウンロードされた画像形成装置が「XX…1」の画像形成装置であれば、そのCPUがファームウェア更新用データ中の更新用のファームウェアによって当該画像形成装置のROMC21内のファームウェアを更新する。つまり、ROMC21内のファームウェアをダウンロードされた更新用のファームウェアに更新する。

【0105】

また、上記ファームウェア更新データ中の更新用のハードウェアに関する情報によって不揮発性メモリ内のハードウェア管理テーブルに格納されている現在のハードウェア構成に関する情報を更新する。つまり、ハードウェア管理テーブルに格納されている現在のハードウェア構成に関する情報とダウンロードされた更新用のハードウェア構成に関する情報とを比較し、両情報が一致しない場合は、現在のハードウェア構成に関する情報をダウンロードされた更新用のハードウェアに関する情報に更新する。

【0106】

このように、センタシステム1のCPUは、ユーザ先に設置されている画像形成装置のハードウェア構成に関する情報を含む機器管理DB59b内の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性をチェックし、そのチェック結果から機器

管理DB 5 9 b内の管理情報と更新用のファームウェアとが適合すると認識した場合に、その更新用のファームウェアを該当する画像形成装置へダウンロードしてファームウェアの更新を行わせることにより、経済的且つ効率的にファームウェアの更新が可能となる。

【0 1 0 7】

また、機器管理DB 5 9 b内の管理情報と更新用のファームウェアとが適合しないと認識した場合には、その更新用のファームウェアを機器管理DB 5 9 b内の管理情報と適合するように構築し直し、その更新後のファームウェアを該当する画像形成装置へダウンロードしてファームウェアの更新を行わせることにより、より経済的且つ効率的にファームウェアの更新が可能となる。

したがって、ファームウェアのダウンロードの実施による障害、機能動作不良等の発生を防止することができる。またそれに伴い、CEによる障害等の解析や修復作業を行う必要がなくなり、その作業のための時間および手間を削減することができる。

【0 1 0 8】

なお、この第5実施形態では、ファームウェア更新対象の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報がキーワードとして指定入力された後、ファームウェアのダウンロードを開始するためのキー操作が行われることにより、ファームウェア更新対象の画像形成装置の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性のチェックおよびその画像形成装置への更新用のファームウェアのダウンロードを実施するようにしたが、〔第3実施形態〕の項で説明したハードウェア情報読み取り処理と同様の処理を行ない、〔第4実施形態〕の項で説明したハードウェア情報更新処理と同様の処理を行う画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、その情報によって機器管理DB 5 9 bを更新した後、その画像形成装置の管理情報と更新用のファームウェアとの適合性のチェックおよびその画像形成装置への更新用のファームウェアのダウンロードを実施するようにすることもできる。

【0 1 0 9】

【発明の効果】

以上説明してきたように、この発明の画像形成装置管理システムによれば、中央管理装置がユーザ先に設置されている画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアの更新を行わせる場合、その画像形成装置のハードウェア構成に適合するファームウェアのダウンロードを経済的且つ効率的に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明による画像形成装置管理システムの構成例を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 のセンタシステム（中央管理装置） 1 の構成例を示すブロック図である。

【図 3】

図 2 のクライアント 2 a, 2 b, …… , サーバ 3 の構成例を示すブロック図である。

【図 4】

図 2 の顧客 DB 5 9 a 内の顧客情報の構成例を示す図である。

【図 5】

図 2 の機器管理 DB 5 9 b 内の管理情報の構成例を示す図である。

【図 6】

図 1 の通信アダプタ 1 1 の構成例を示すブロック図である。

【図 7】

図 1 の複写機 1 3, 2 3 の制御系の第 1 構成例を示すブロック図である。

【図 8】

同じく第 2 構成例を示すブロック図である。

【図 9】

図 8 の操作部 1 1 1' の制御基板 C2 の構成例を示すブロック図である。

【図 1 0】

図 1 の複写機 1 3, 2 3 の制御系の第 3 構成例を示すブロック構成図である。

【図 1 1】

図 1 のセンタシステム 1 におけるファームウェアダウンロード処理の一例を示

すフロー図である。

【図 1 2】

図 1 の複写機 1 3, 2 3 を含む各画像形成装置におけるファームウェア更新処理の一例を示すフロー図である。

【図 1 3】

図 1 の複写機 1 3 を含む各画像形成装置およびセンタシステム 1 におけるハードウェア情報更新処理の一例を示すフロー図である。

【図 1 4】

図 1 のセンタシステム 1 におけるファームウェア情報読み取り処理の一例を示すフロー図である。

【図 1 5】

図 1 の複写機 1 3 を含む各画像形成装置とセンタシステム 1 との間のハードウェア構成読み取り指令および応答情報のフォーマット例を示す図である。

【図 1 6】

図 1 の複写機 1 3 を含む各画像形成装置およびセンタシステム 1 におけるハードウェア情報更新処理の他の例を示すフロー図である。

【図 1 7】

図 1 のセンタシステム 1 におけるファームウェアダウンロード処理の他の例を示すフロー図である。

【図 1 8】

図 5 に示した機器管理 DB 5 9 b 内の管理情報の一部を示す図である。

【図 1 9】

図 1 のセンタシステム 1 から複写機 1 3 を含む各画像形成装置のうちのいずれかへダウンロード（送信）されるファームウェア更新データのフォーマット例を示す図である。

【符号の説明】

1 : センタシステム（中央管理装置）

2 a, 2 b : クライアント

3 : サーバ

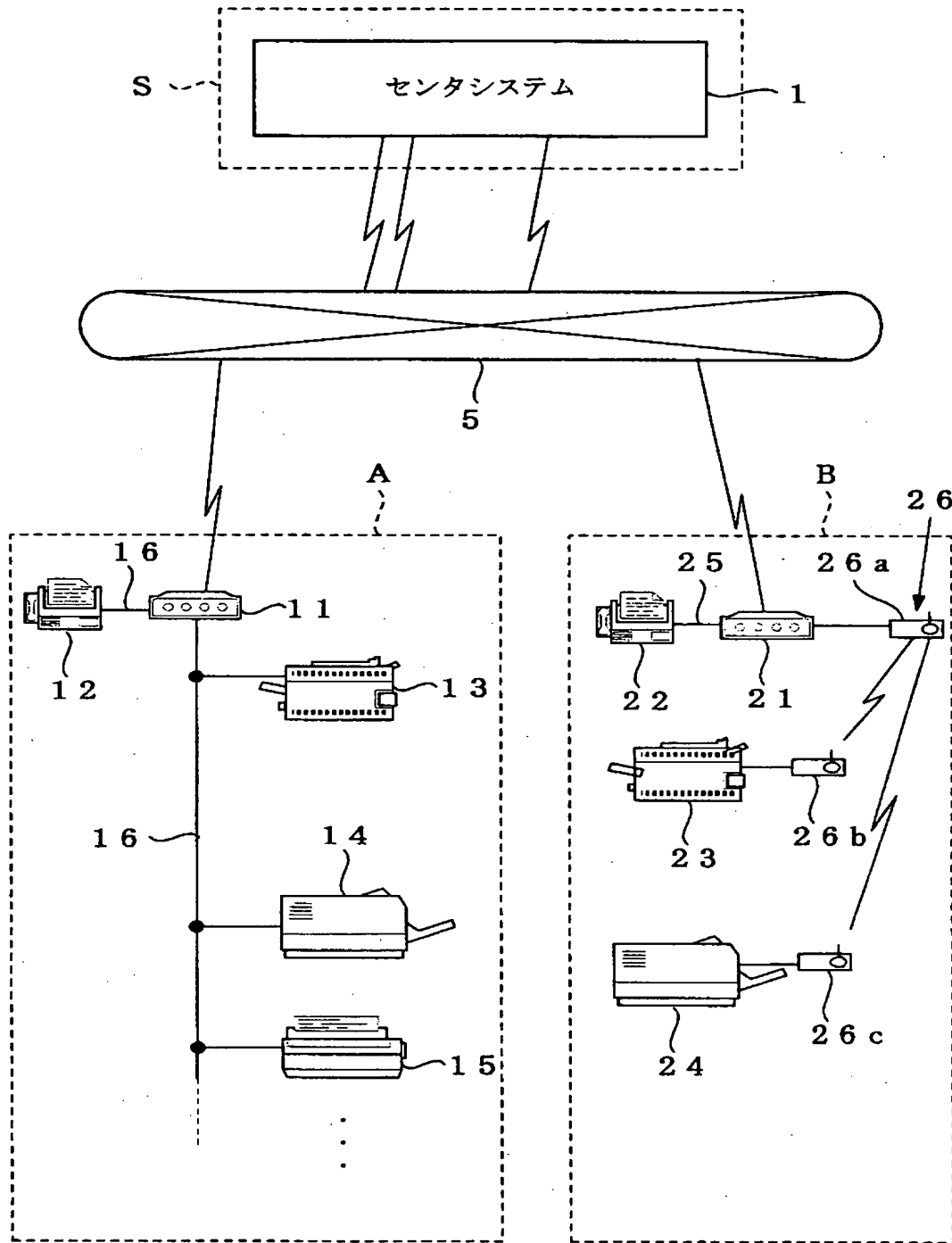
4 : ネットワーク

5 : 公衆通信回線網

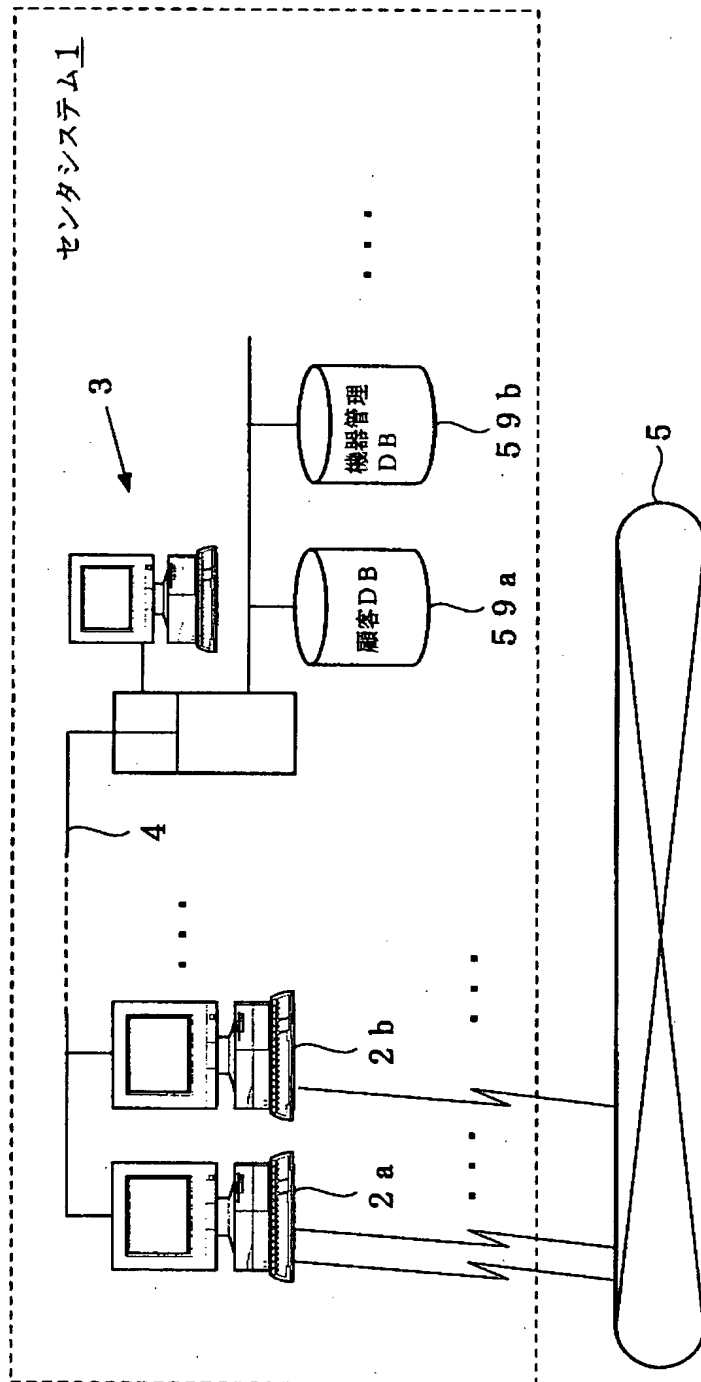
1 1, 2 1 : 通信アダプタ
1 2, 2 2 : ファクシミリ装置 1 3, 2 3 : 複写機
1 4, 2 4 : プリンタ 1 5 : 印刷機
1 6, 2 5 : 有線による専用 I / F
2 6 : 無線による専用 I / F
2 6 a, 2 6 b, 2 6 c : 無線装置
3 1, 5 1, 7 4, 1 0 1, 1 1 2, 1 3 1 : CPU
3 2 : リアルタイムクロック回路
3 3, 5 3, 7 5, 1 0 2, 1 1 4, 1 3 2 : ROM
3 4, 5 4, 7 6, 1 0 3, 1 3 3 : RAM
1 1 0 : インタフェース制御ユニット
1 1 1, 1 1 1' : 操作部
1 1 3, 1 3 4 : インタフェース回路

【書類名】 図面

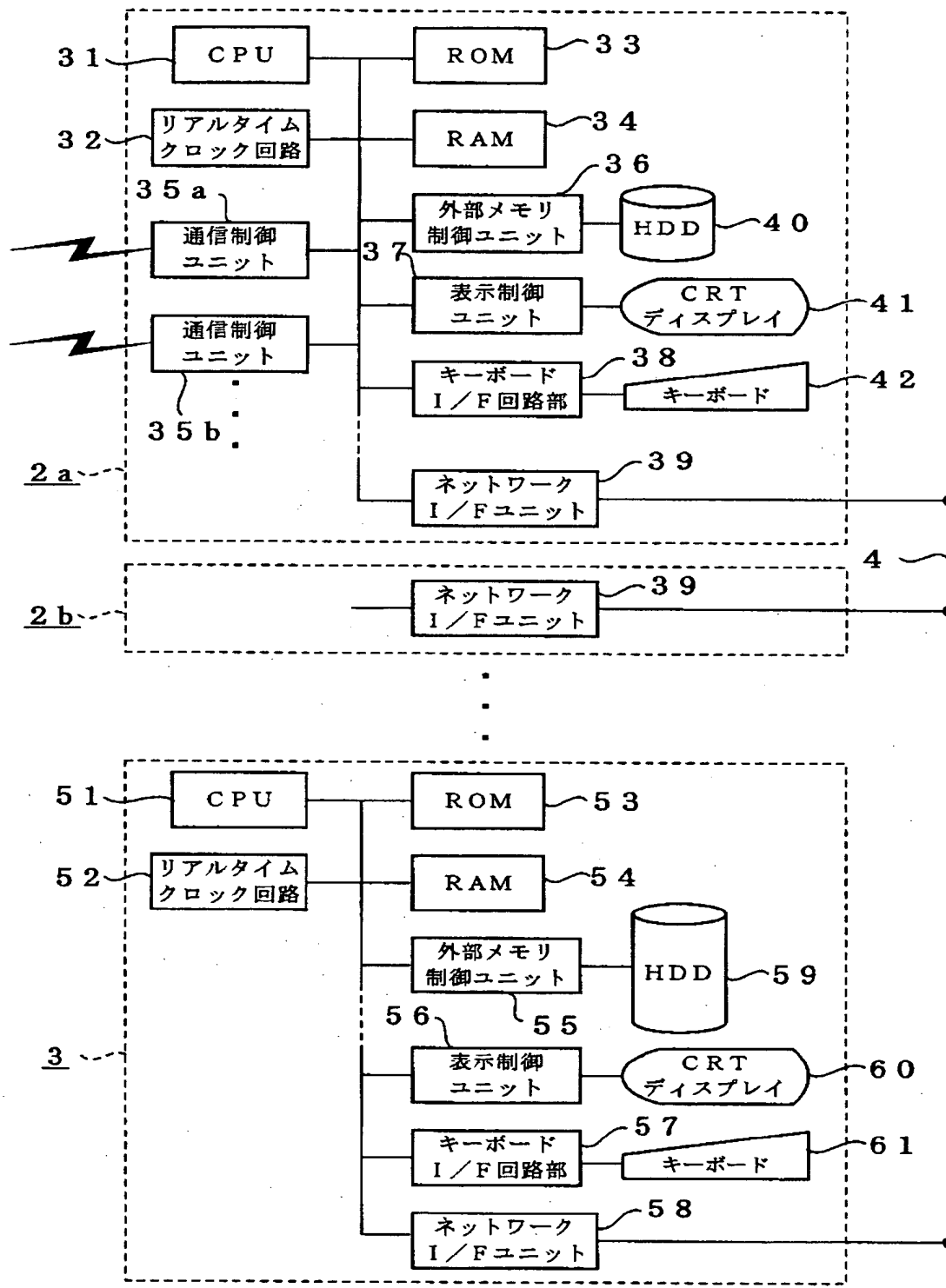
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

機種・機番	顧客ID	顧客名	住 所	ビル名	顧客 担当者名	顧客担当者 電話番号
XX・・・1 XX・・・2 . .	XXX5600 XXX1000	(株)XXX新横浜(事) (株)XX商会	横浜市港北区新横浜3-2-3 横浜市港北区新横浜3-2-3	新横浜ビル 新横浜ビル	理光太郎 理光次郎	12-3456-7890 23-4567-8901

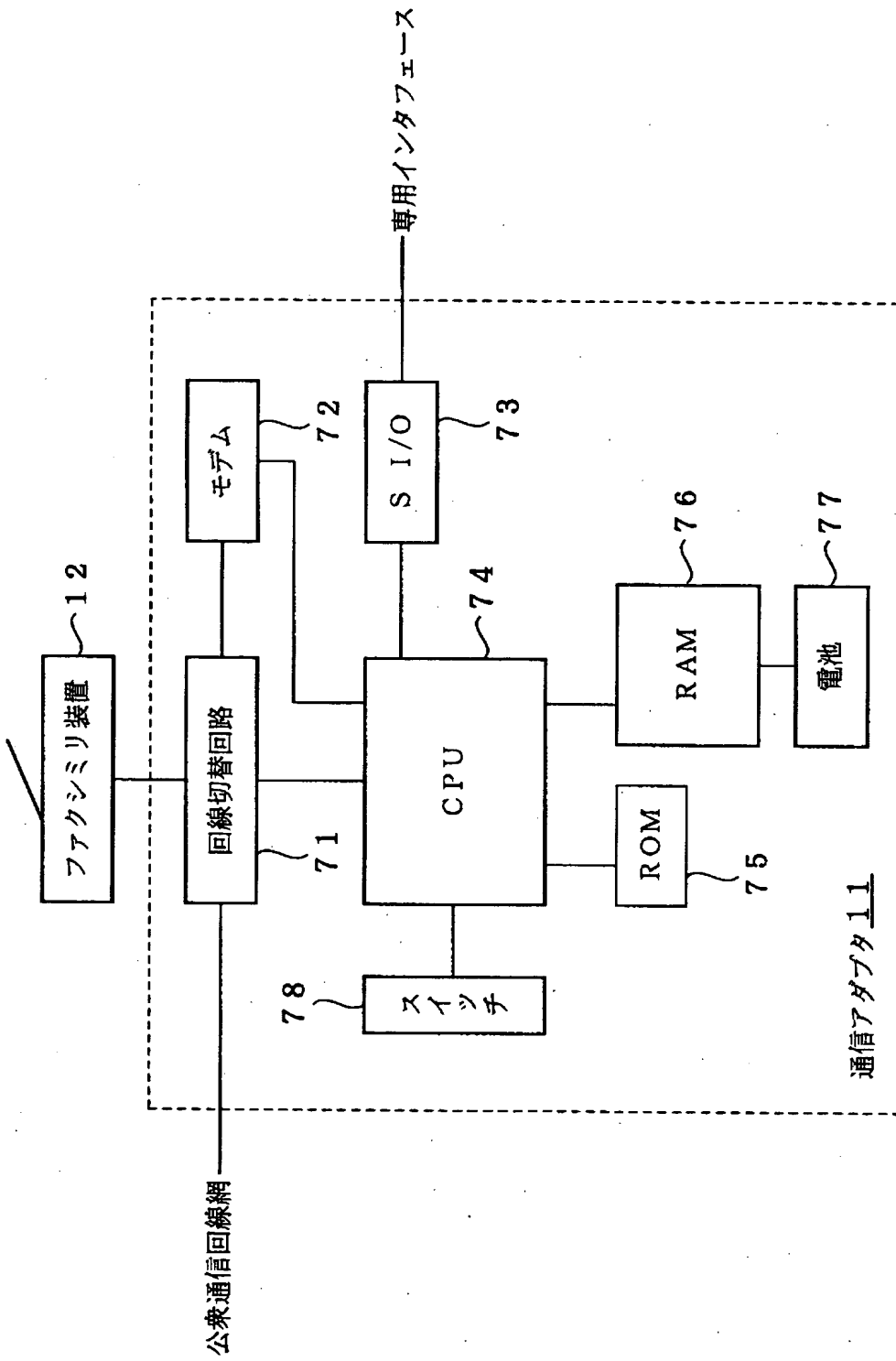
通信アダプタ 機種・機番	通信アダプタ 接続番号	担当サービス区			...
		拠点名	連絡先	担当CE	
XXX-1234 XXX-5678	12-6543-9876 98-7654-3210	横浜SS 横浜SS	XX-XXXXX XX-XXXXX	理光一郎 理光一郎	

【図 5】

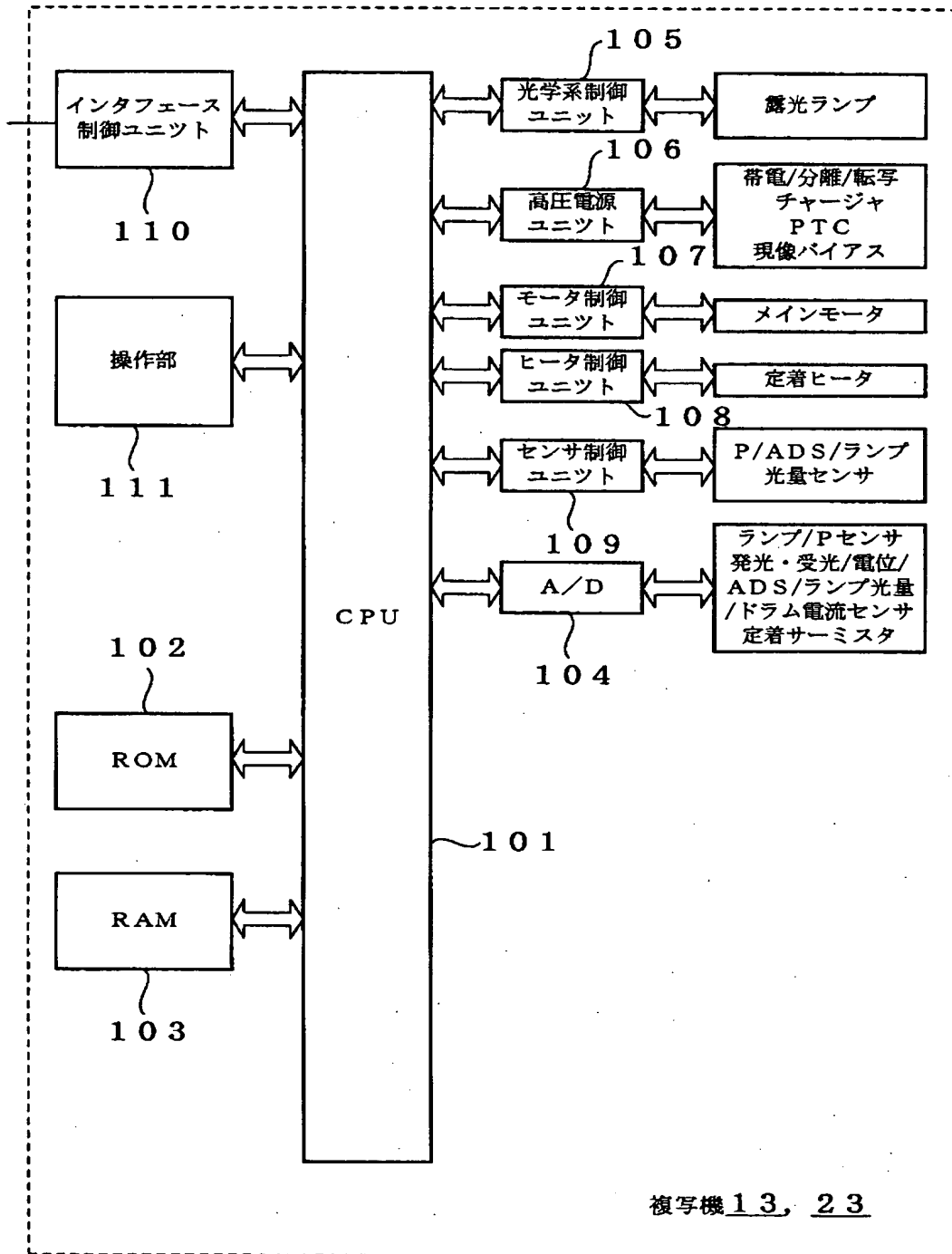
機種・機番	ハードウェア構成						
	制御基板/ROM						
	制御基板C1 Ver.	ROMC11 Ver.	ROMC12 Ver.	制御基板C2 Ver.	ROMC21 Ver.	ROMC22 Ver.	...
XX...1	1.00	1.22	1.00	1.01	0.00	0.00	
XX...2	1.02	1.00	0.00	1.13	1.00	0.00	
.							
.							
.							

ユニット	...			
	...			
	光学系制御 ユニットD1 Ver.	高圧電源 ユニットD2 Ver.	モータ制御 ユニットD3 Ver.	ソータ制御 ユニットD4 Ver.
	1.20	1.00	1.10	0.00
	1.00	1.00	1.20	1.00

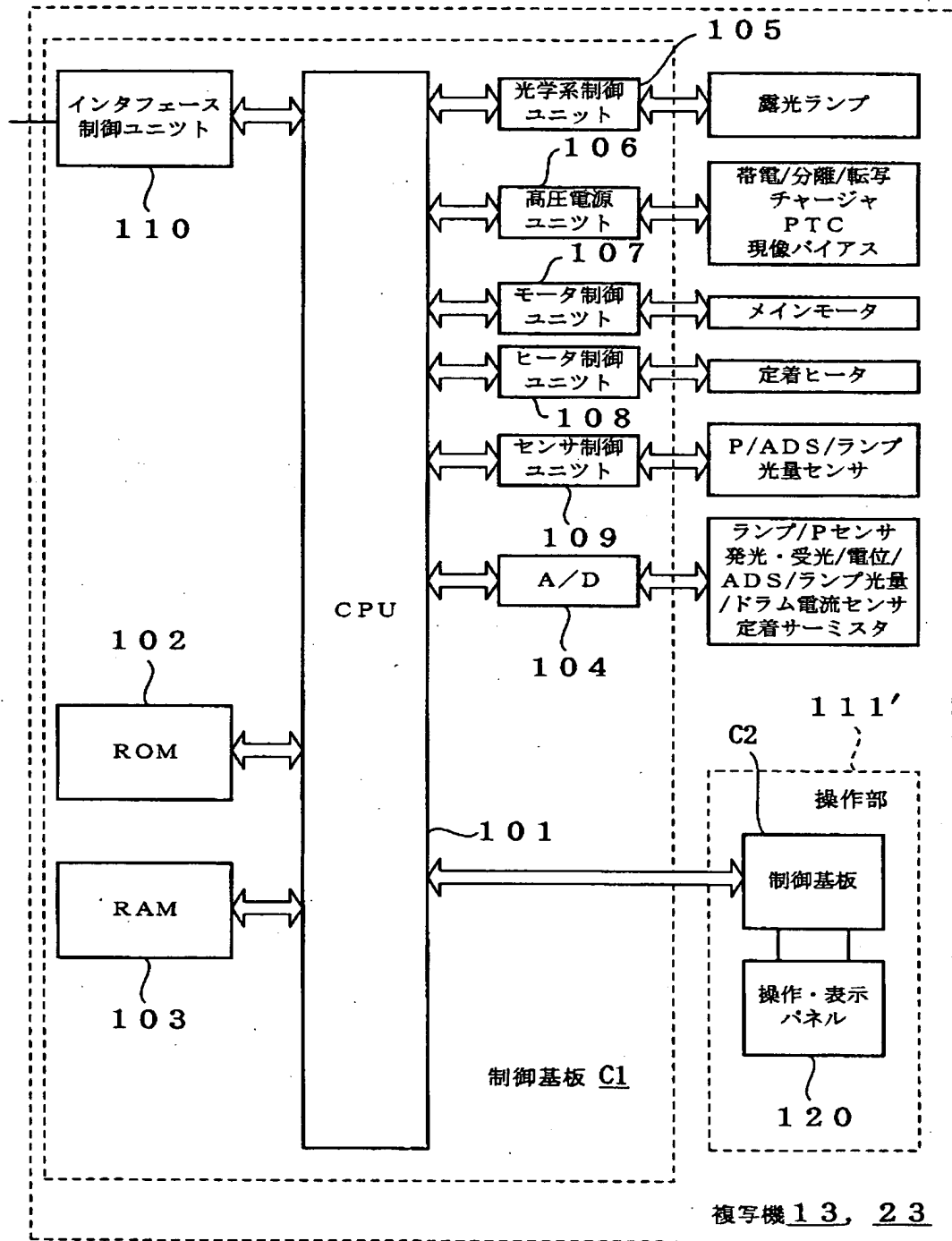
【図 6】



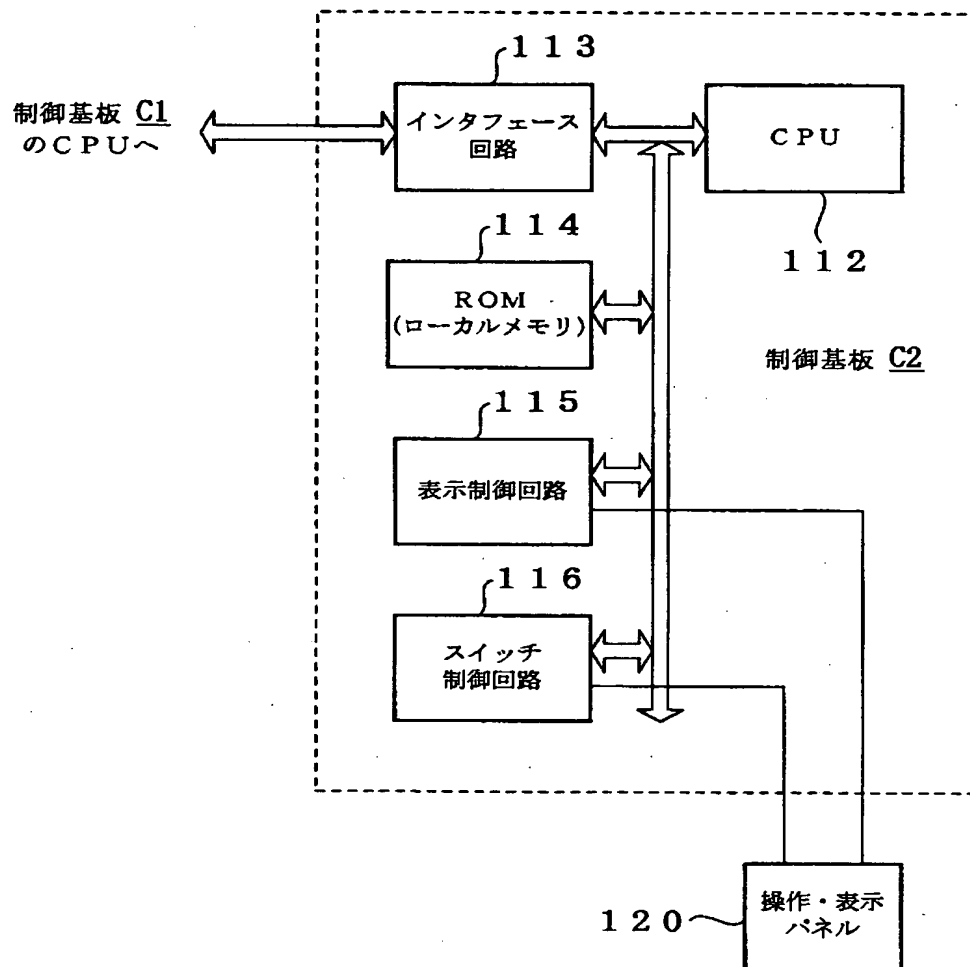
【図 7】



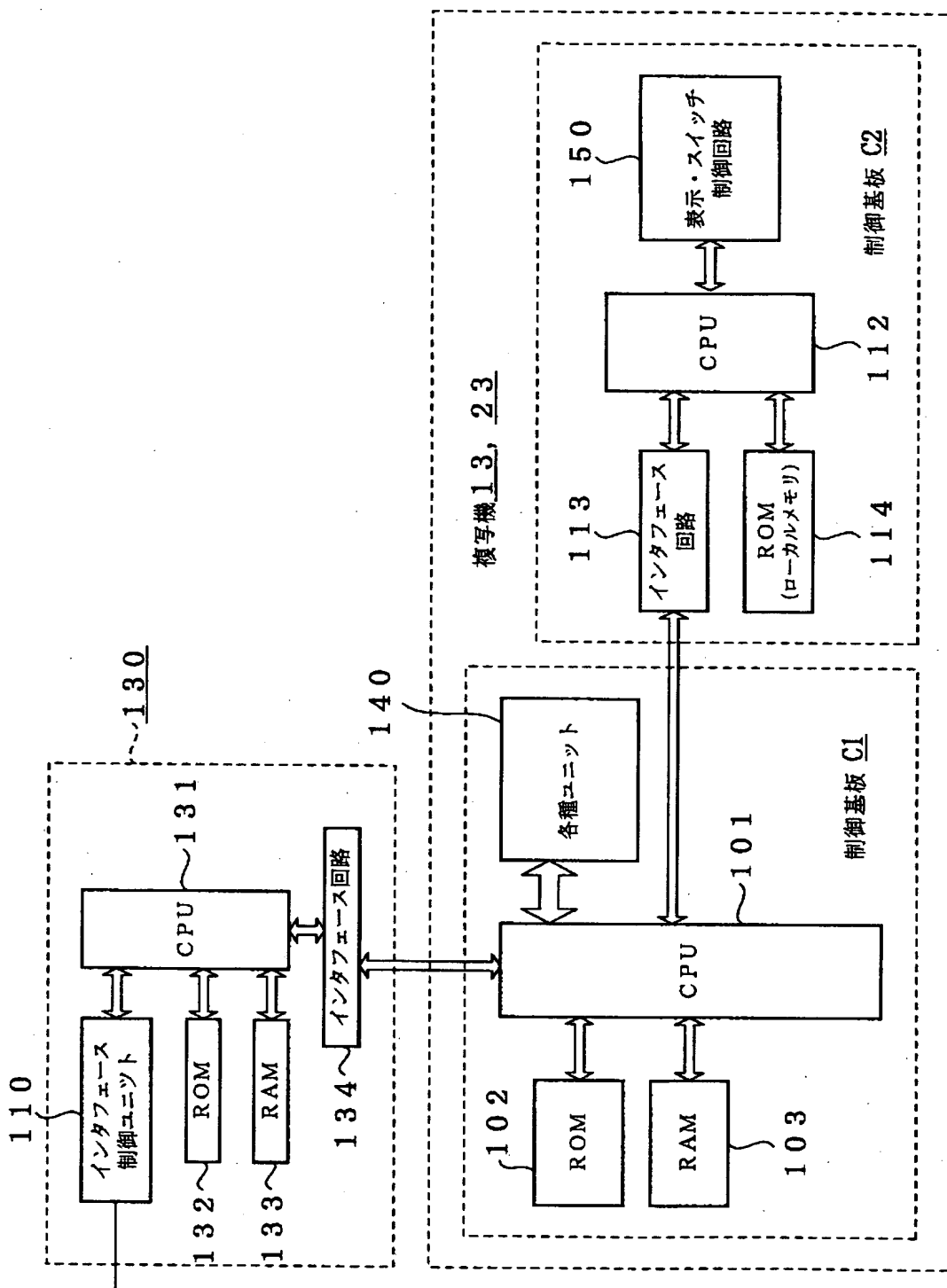
【図 8】



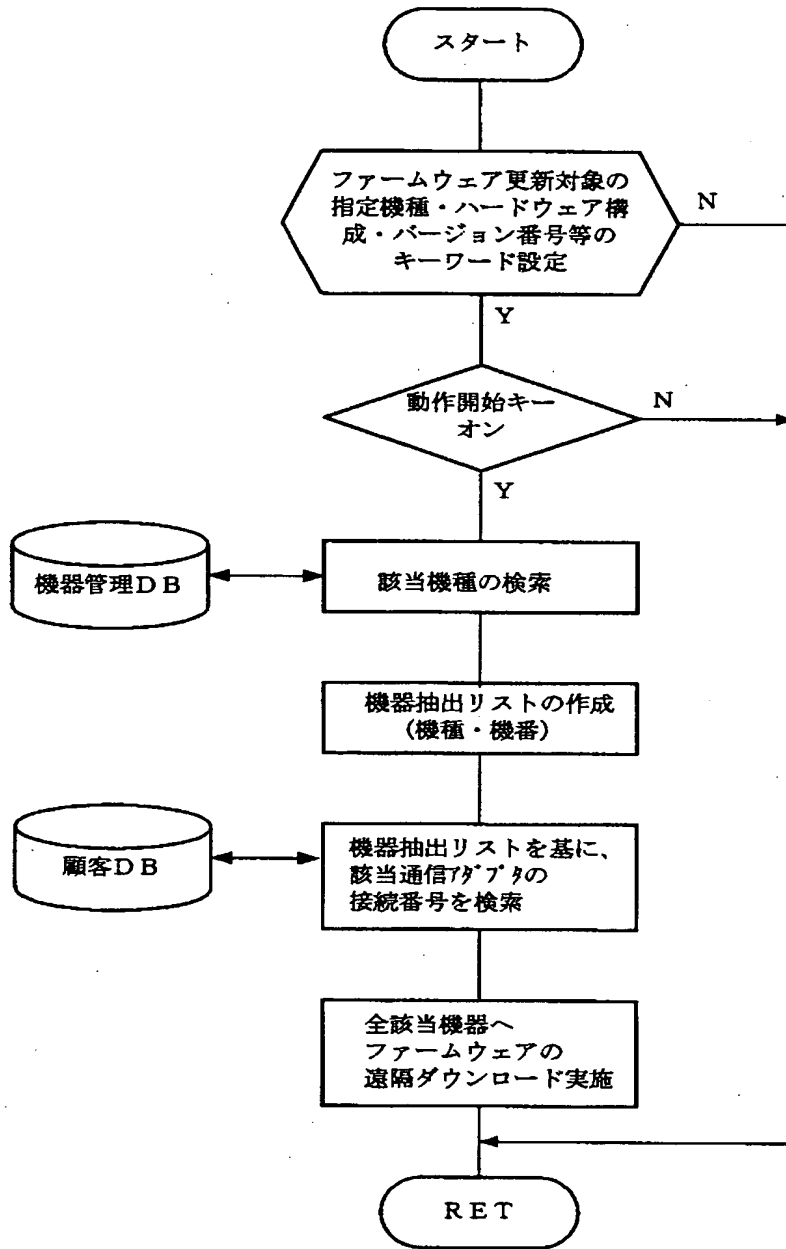
【図9】



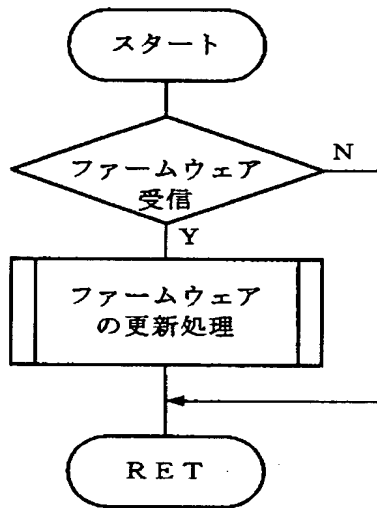
【図 10】



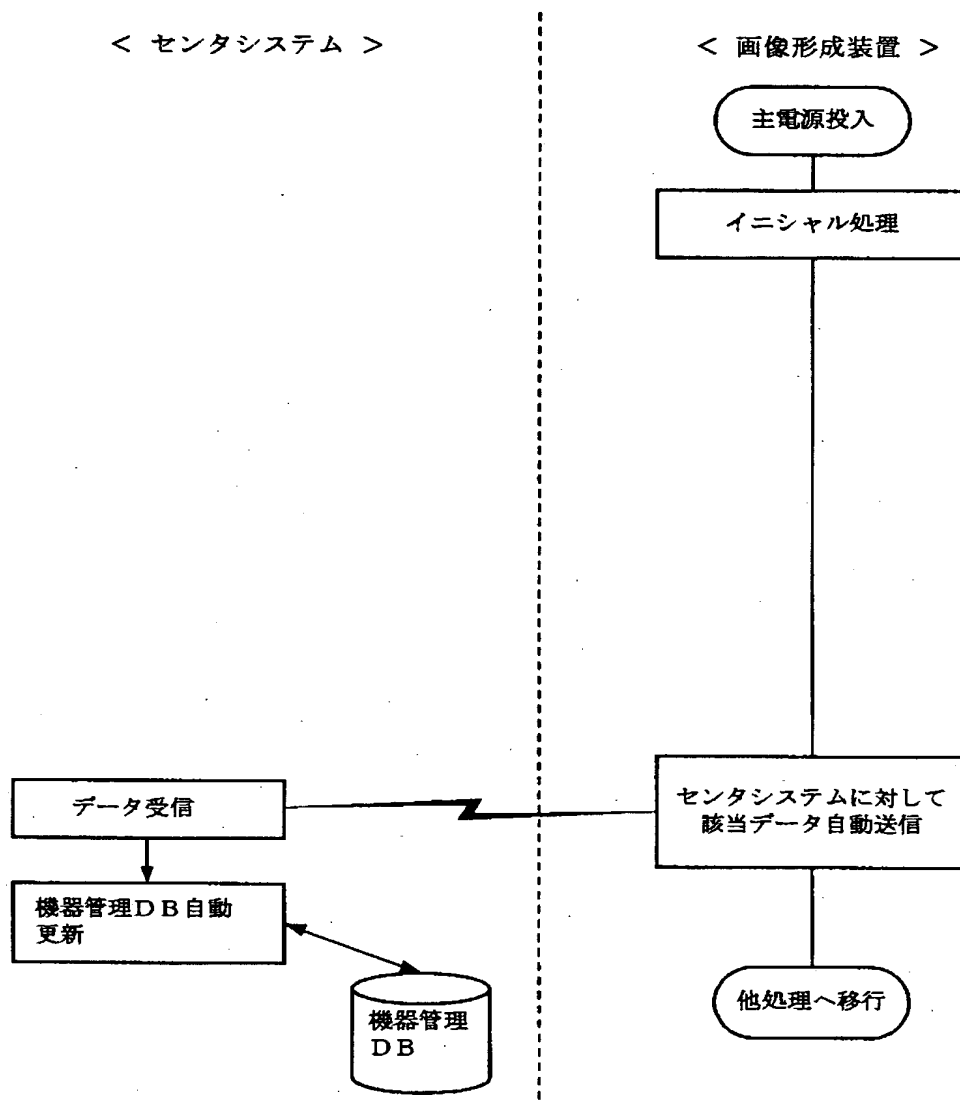
【図 11】



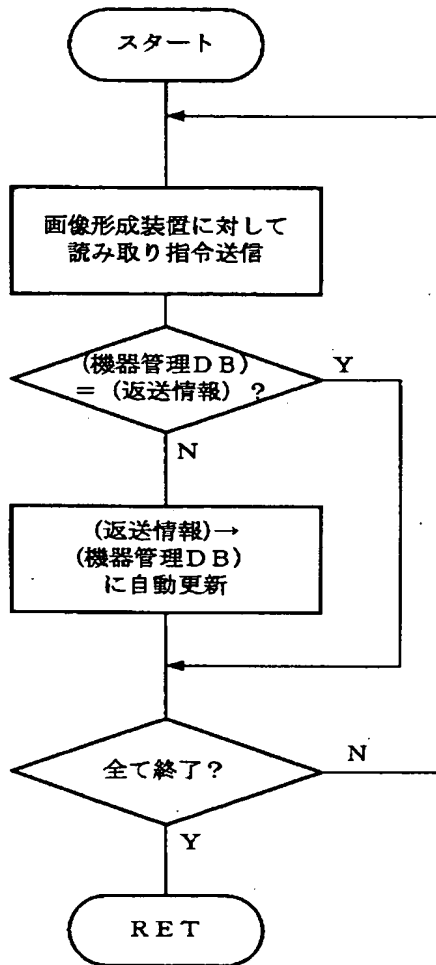
【図 1 2】



【図 1 3】

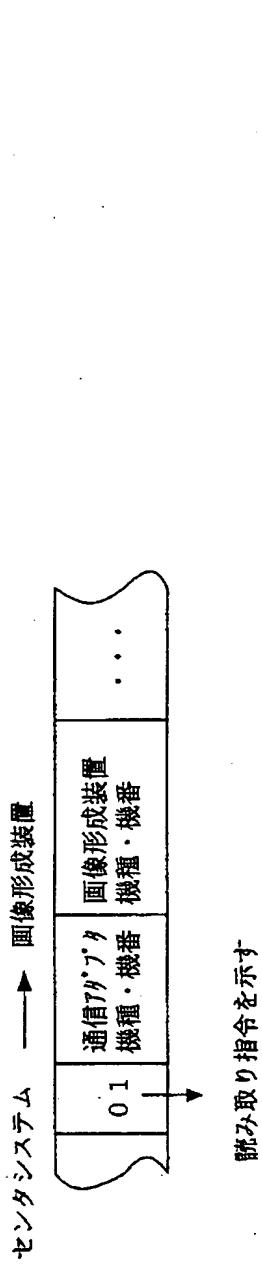


【図 1 4】

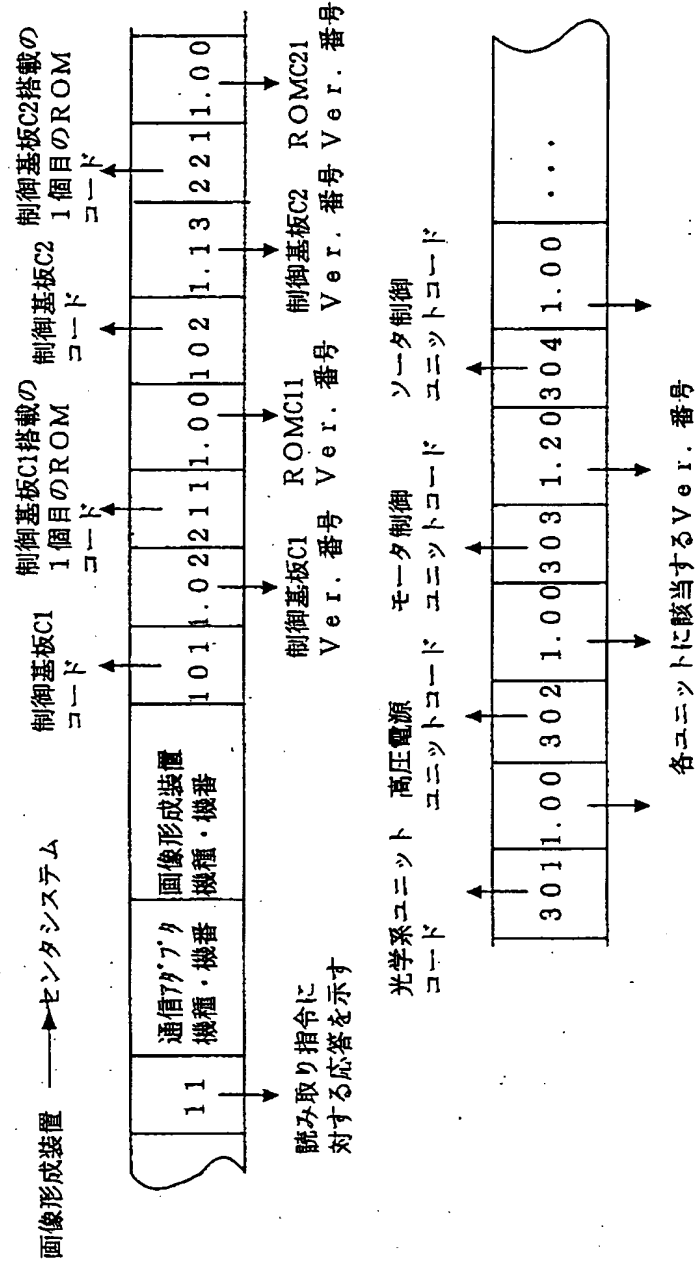


【図 1 5】

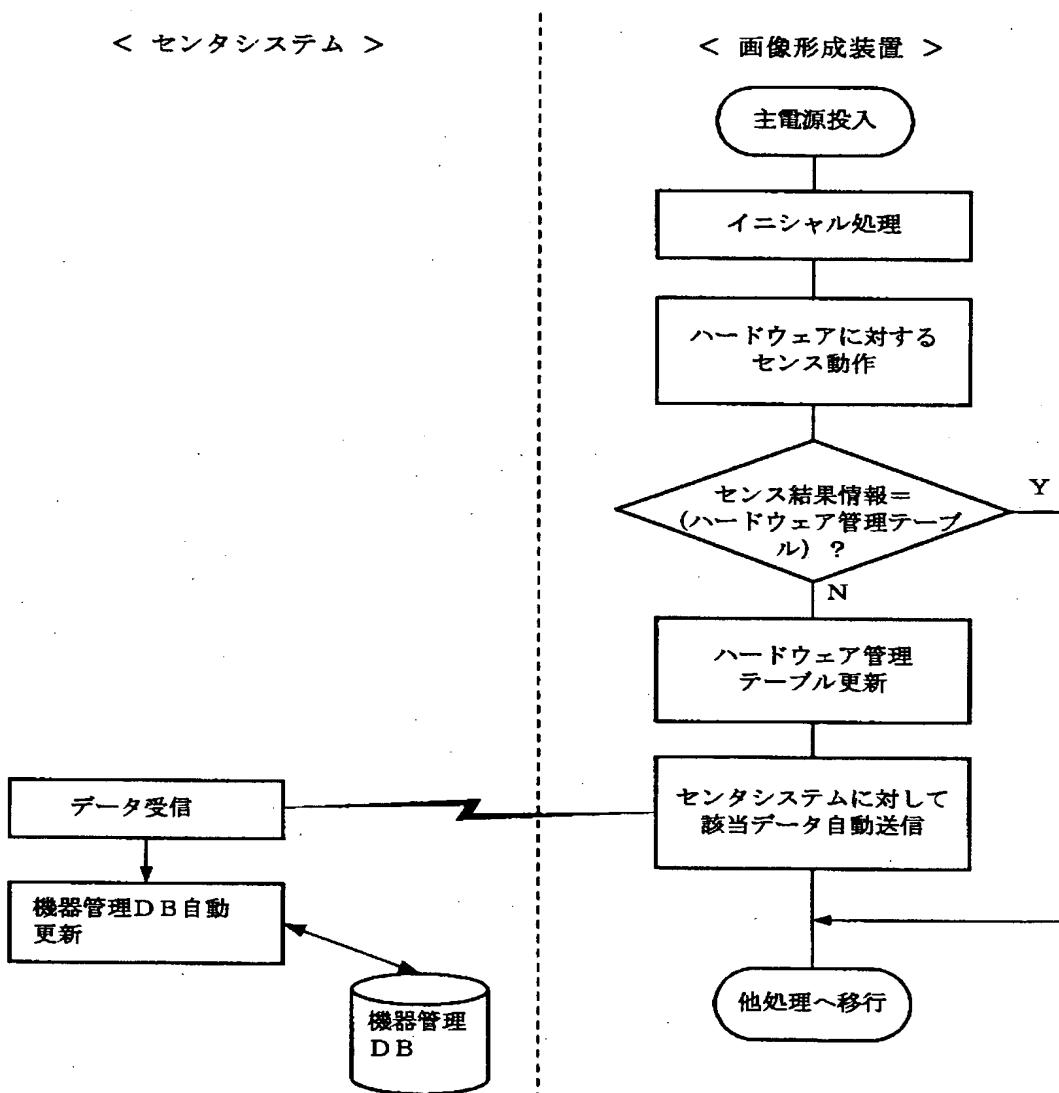
(1) ハードウェア構成読み取り指令フォーマット



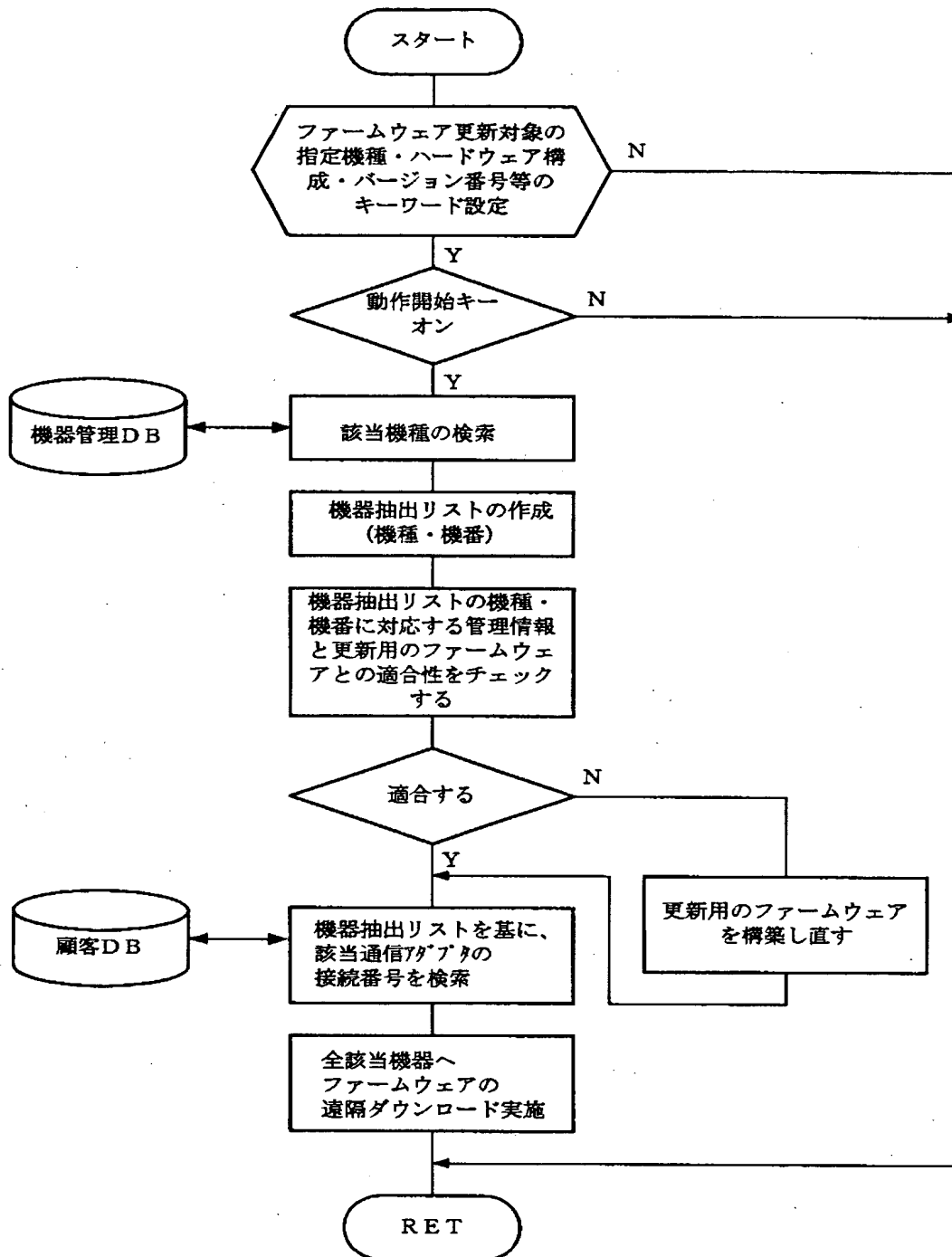
(2) 同上返送情報フォーマット



【図 16】



【図17】

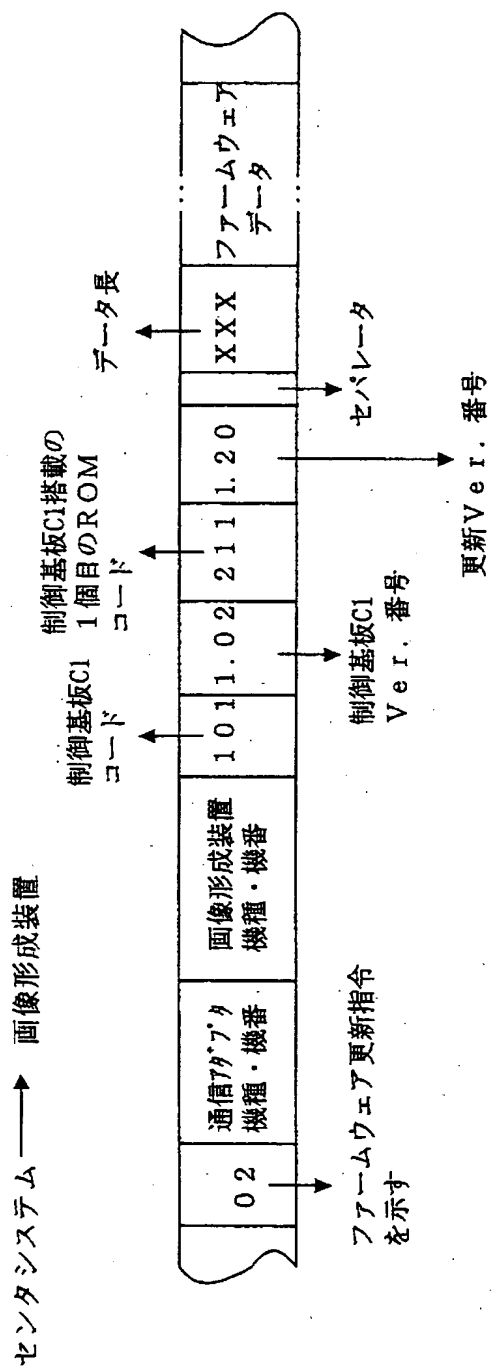


【図 18】

ハードウェア構成						
制御基板/ROM						
制御基板C1 Ver.	ROMC11 Ver.	ROMC12 Ver.	・・・	制御基板C2 Ver.	ROMC21 Ver.	ROMC22 Ver.
1.00	1.22	1.00		X.XX	X.XX	X.XX
						・・・

ユニット				
・・・				
光学系制御 ユニットD1	高圧電源 ユニットD2	モータ制御 ユニットD3	ソータ制御 ユニットD4	・・・
1.20	1.00	1.10	0.00	

【図19】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 中央管理装置が画像形成装置のハードウェア構成に適合するファームウェアのダウンロードを経済的且つ効率的に行えるようにする。

【解決手段】 センタシステム 1 が、複写機 1 3 等の画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードしてファームウェアの更新を行わせる場合、その画像形成装置のハードウェア構成（制御基板，ユニット，ROM）に応じてその画像形成装置へ更新用のファームウェアをダウンロードする。また、複写機 1 3 等の画像形成装置のハードウェア構成に関する情報の読み取り指令をその画像形成装置へ送信し、それに対してその画像形成装置からハードウェア構成に関する情報を受信した場合に、その情報によって機器管理 DB の内容を更新する。

【選択図】 図 1

特2001-023910

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
氏 名 株式会社リコー